

第5章 子どもの健康と自己肯定感

1 子どもの健康状態

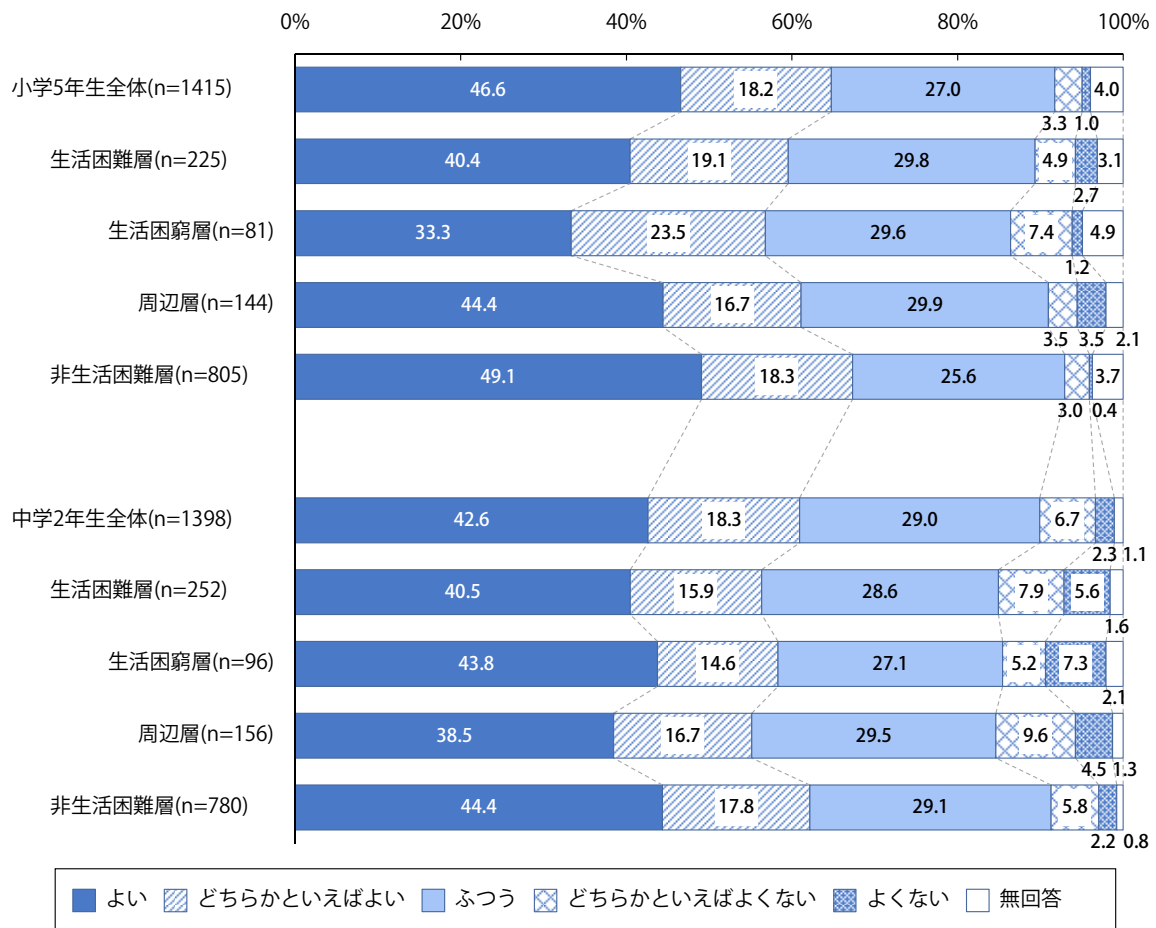
(1) 子どもの主観的健康状態

▼あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(子/問 25)

子どもの主観的健康状態について、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた“よい”の割合は、小学5年生全体で64.8%、中学2年生全体で60.9%となっています。

生活困難度別に“よい”の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で56.8%、周辺層で61.1%、非生活困難層で67.4%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

中学2年生では、生活困窮層で58.4%、周辺層で55.2%、非生活困難層で62.2%と周辺層で低くなっています。



(2) 保護者からみた子どもの健康状態

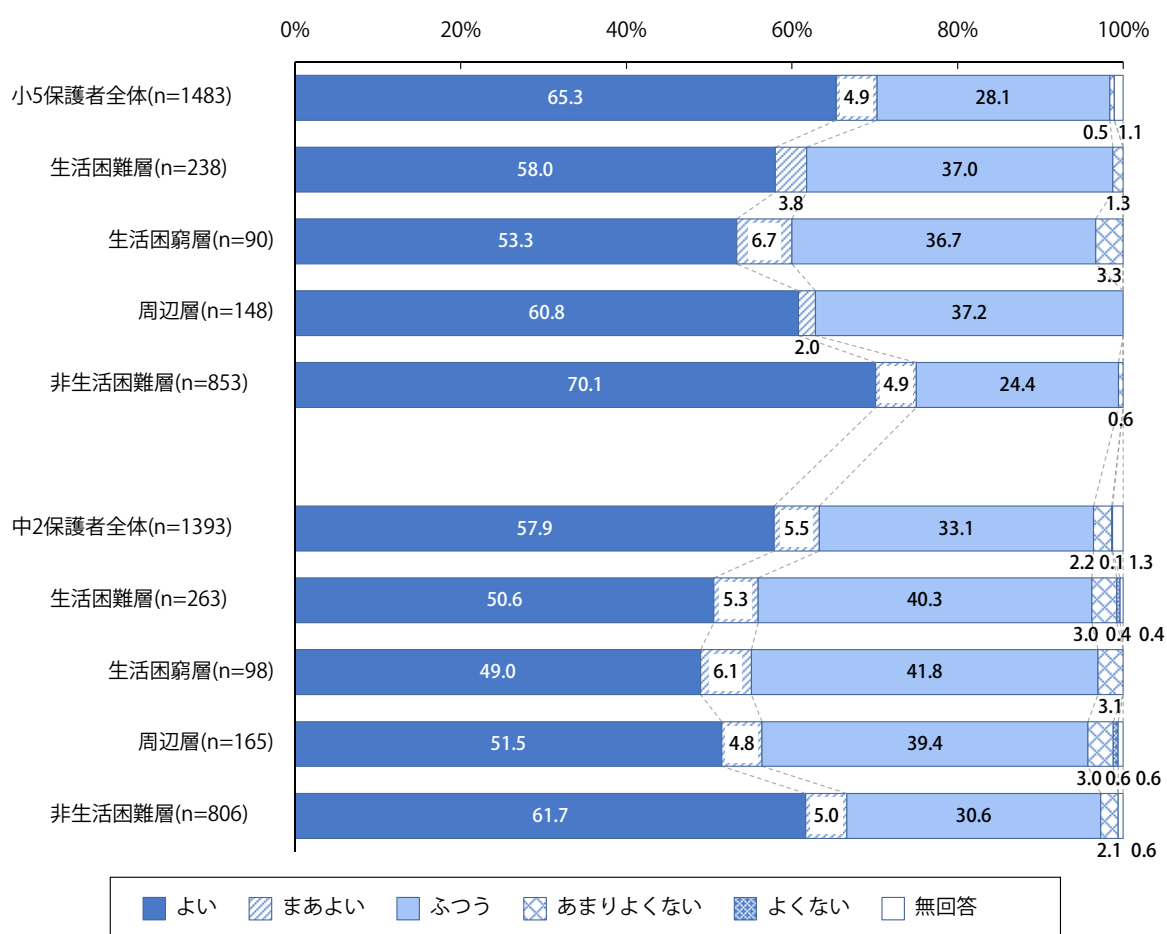
▼あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。(保/問 15-2)

保護者からみた子どもの健康状態について、「よい」は、小学5年生全体で65.3%、中学2年生全体で57.9%となっています。

生活困難度別に「よい」と回答した割合をみると、小学5年生の生活困窮層で53.3%、周辺層で60.8%、非生活困難層で70.1%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。

子ども



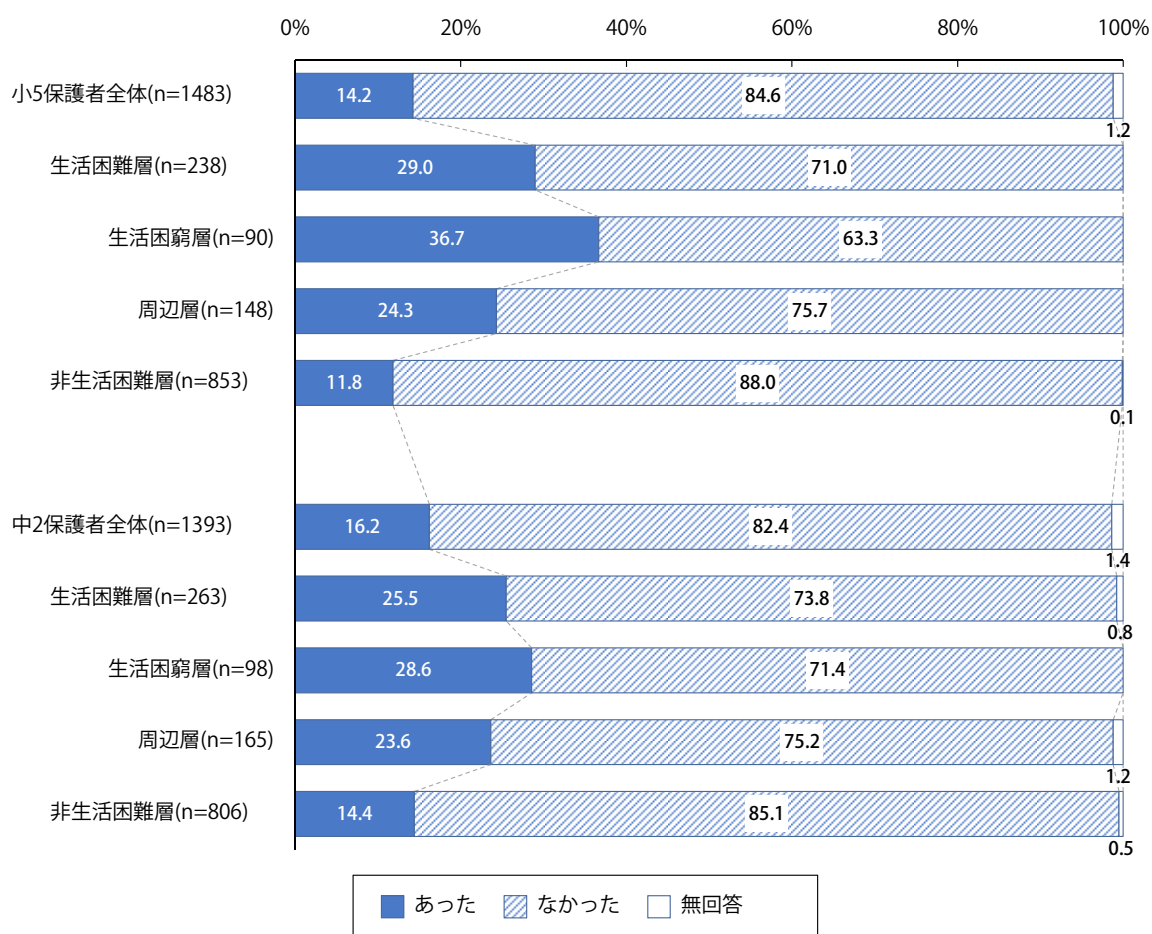
(3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由

▼過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(保/問16)

過去1年間に医療機関を受診させなかったことがあるかについて、「あった」は小学5年生全体で14.2%、中学2年生全体で16.2%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で36.7%、周辺層で24.3%、非生活困難層で11.8%と生活困難度の高い層ほど割合が高くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。

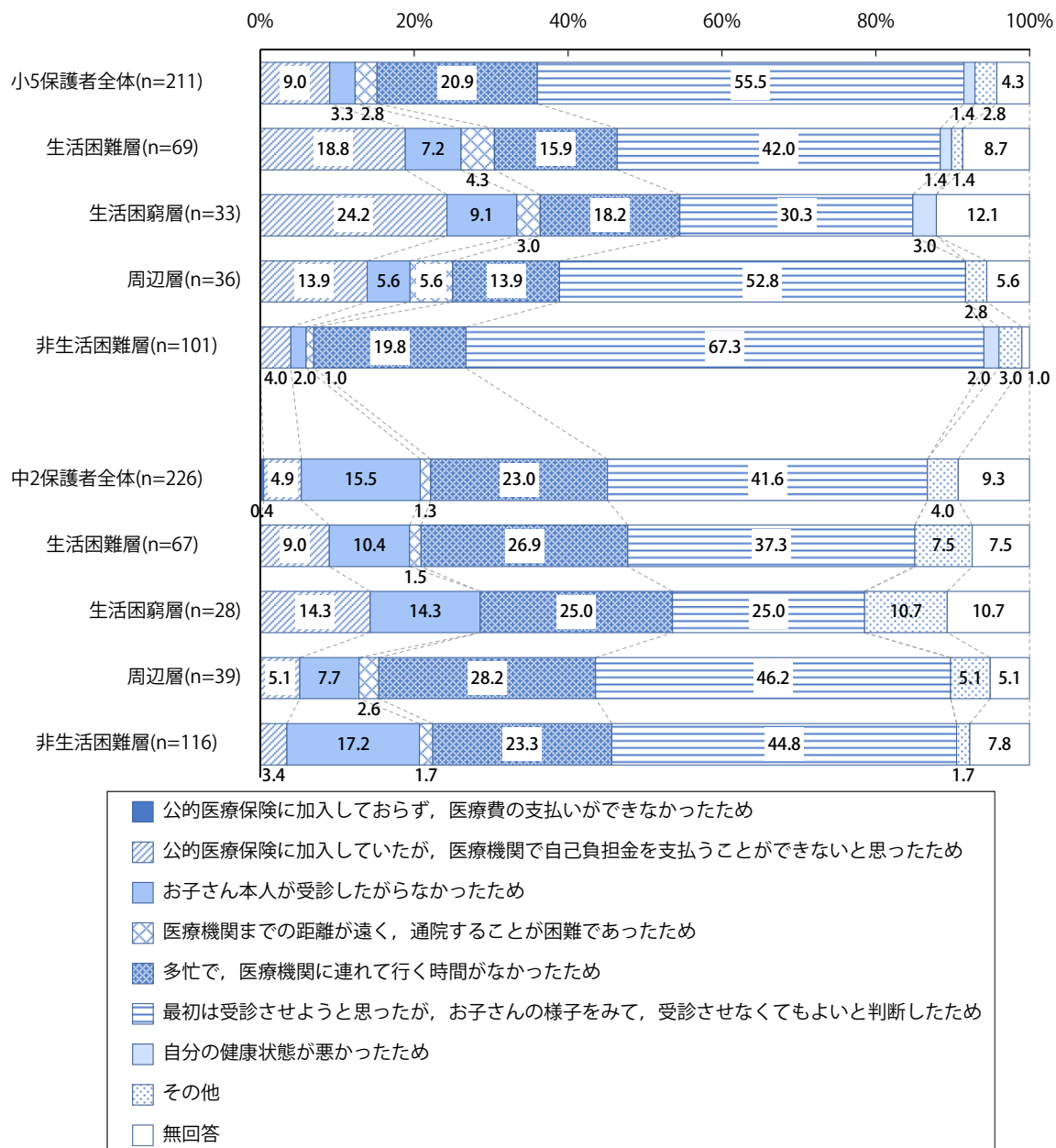


▼問 16 で「1 あった」を選んだ方におうかがいします。

その理由は、何ですか。次の中から、最も近いものに○をつけてください。(保/問 16-1)

過去 1 年間に医療機関を受診させなかったことがあったと回答した人の理由として、小学 5 年生では、「公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため」との経済的理由が、非生活困難層の 4.0%に対し、生活困窮層で 24.2%と 6 倍になっています。

中学 2 年生でも小学 5 年生ほどの差はありませんが、同様の傾向となっています。



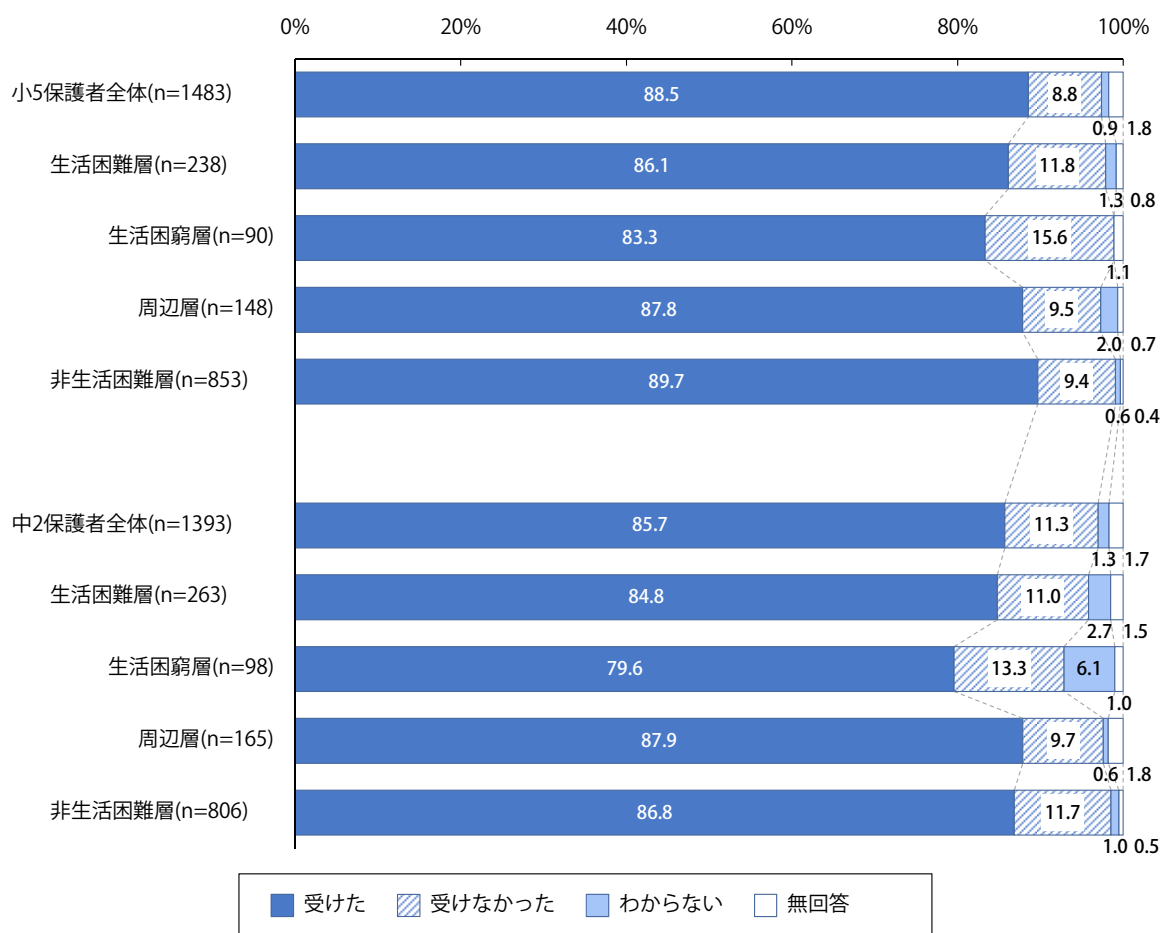
(4) 予防接種状況と未接種の理由

▼お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。(保/問 17)
 ※定期予防接種（結核（BCG）、麻しん・風しん、ポリオ等）は、無料で受けられます。任意接種（インフルエンザ、おたふくかぜ等）は自己負担がかかります。

A 定期予防接種

定期予防接種の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で88.5%、中学2年生全体で85.7%となっています。

生活困難度別でも、小学5年生、中学2年生とも「受けた」は8割前後と割合は高くなっていますが、「受けなかった」の割合は生活困窮層でやや高く、小学5年生の15.6%、中学2年生の13.3%が回答しています。



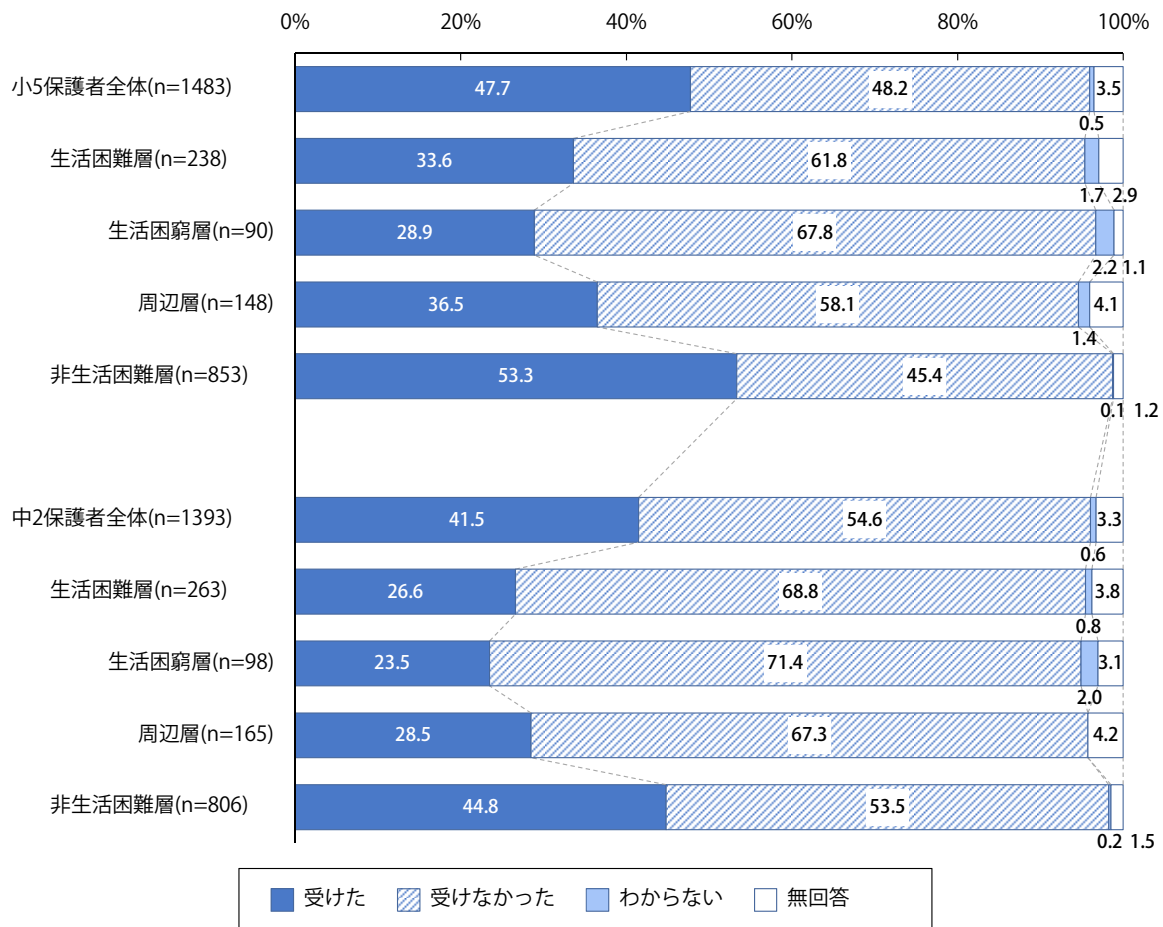
▼お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。(保/問 17)

B 任意接種（インフルエンザ）※過去1年間

任意接種（インフルエンザ）の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で47.7%、中学2年生全体で41.5%となっています。

生活困難度別で「受けた」割合をみると、小学5年生では、生活困窮層で28.9%、周辺層で36.5%、非生活困難層で53.3%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。



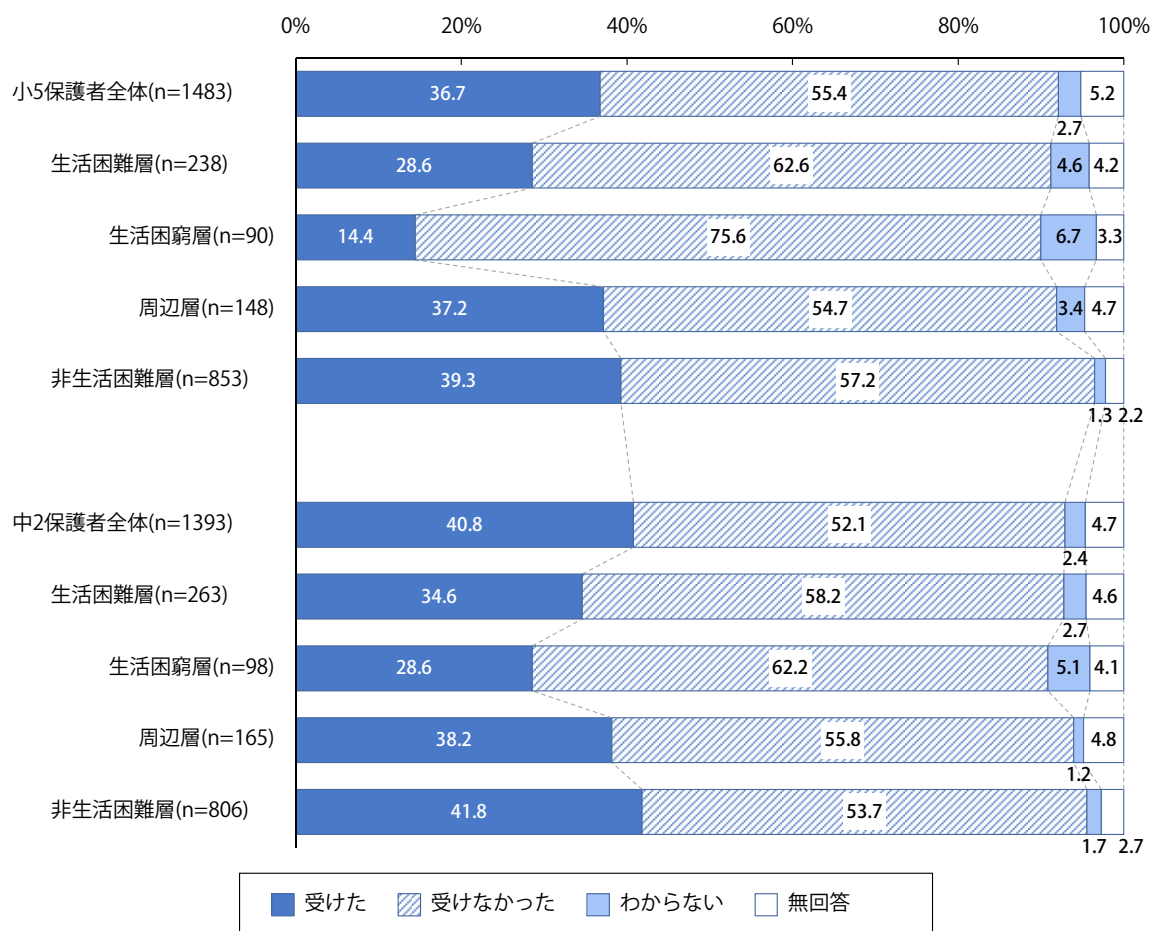
▼お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。(保/問 17)

C 任意接種（おたふくかぜ）

任意接種（おたふくかぜ）の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で36.7%、中学2年生全体で40.8%となっています。

生活困難度別で「受けた」割合をみると、小学5年生では、非生活困難層の39.3%に対し、生活困窮層で14.4%と半数以下となっています。

中学2年生では、生活困窮層で28.6%、周辺層で38.2%、非生活困難層で41.8%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。



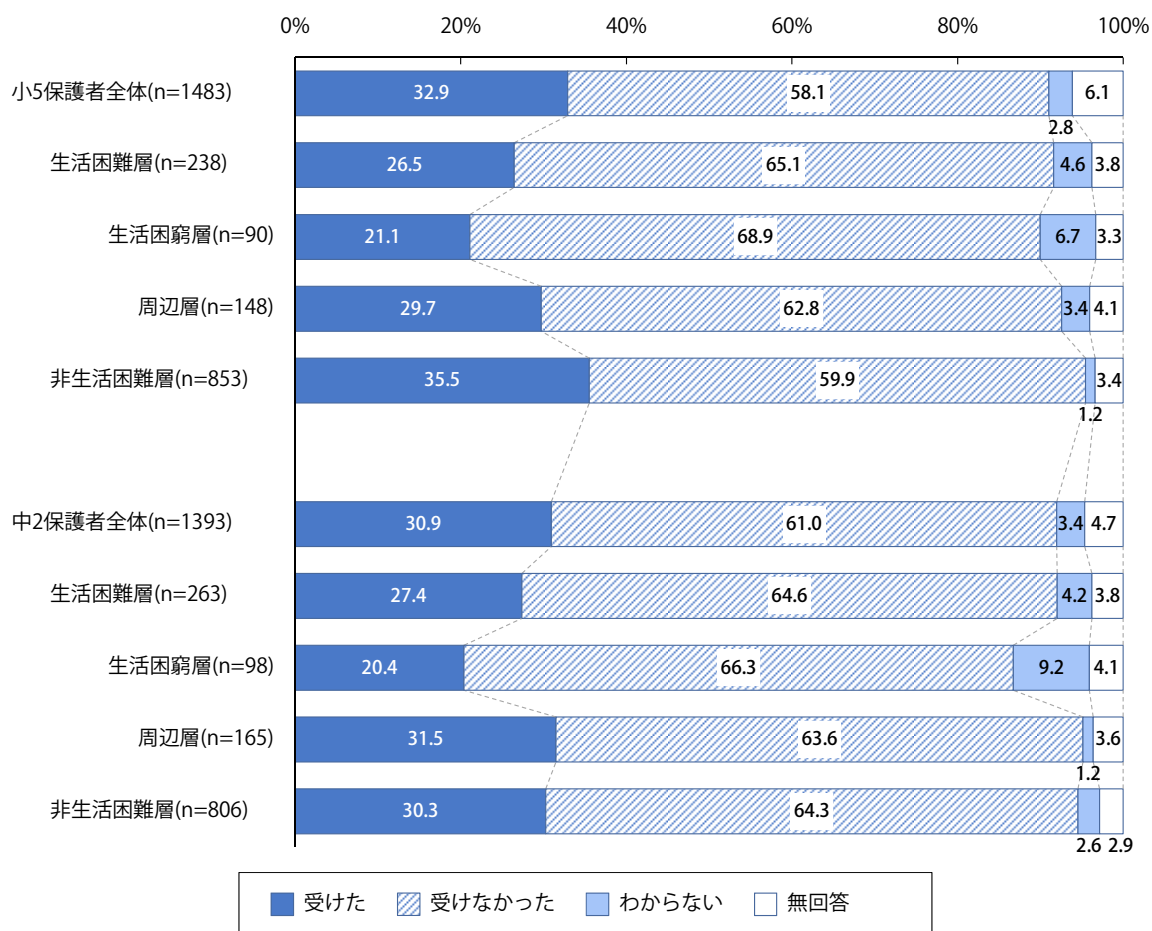
▼お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。(保/問 17)

D 任意接種（水ぼうそう）

任意接種（水ぼうそう）の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で32.9%、中学2年生全体で30.9%となっています。

生活困難度別で「受けた」割合みると、小学5年生では、生活困窮層で21.1%、周辺層で29.7%、非生活困難層で35.5%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

中学2年生では、生活困窮層で20.4%となっており、非生活困難層の30.3%と比べ10ポイントほど低くなっています。

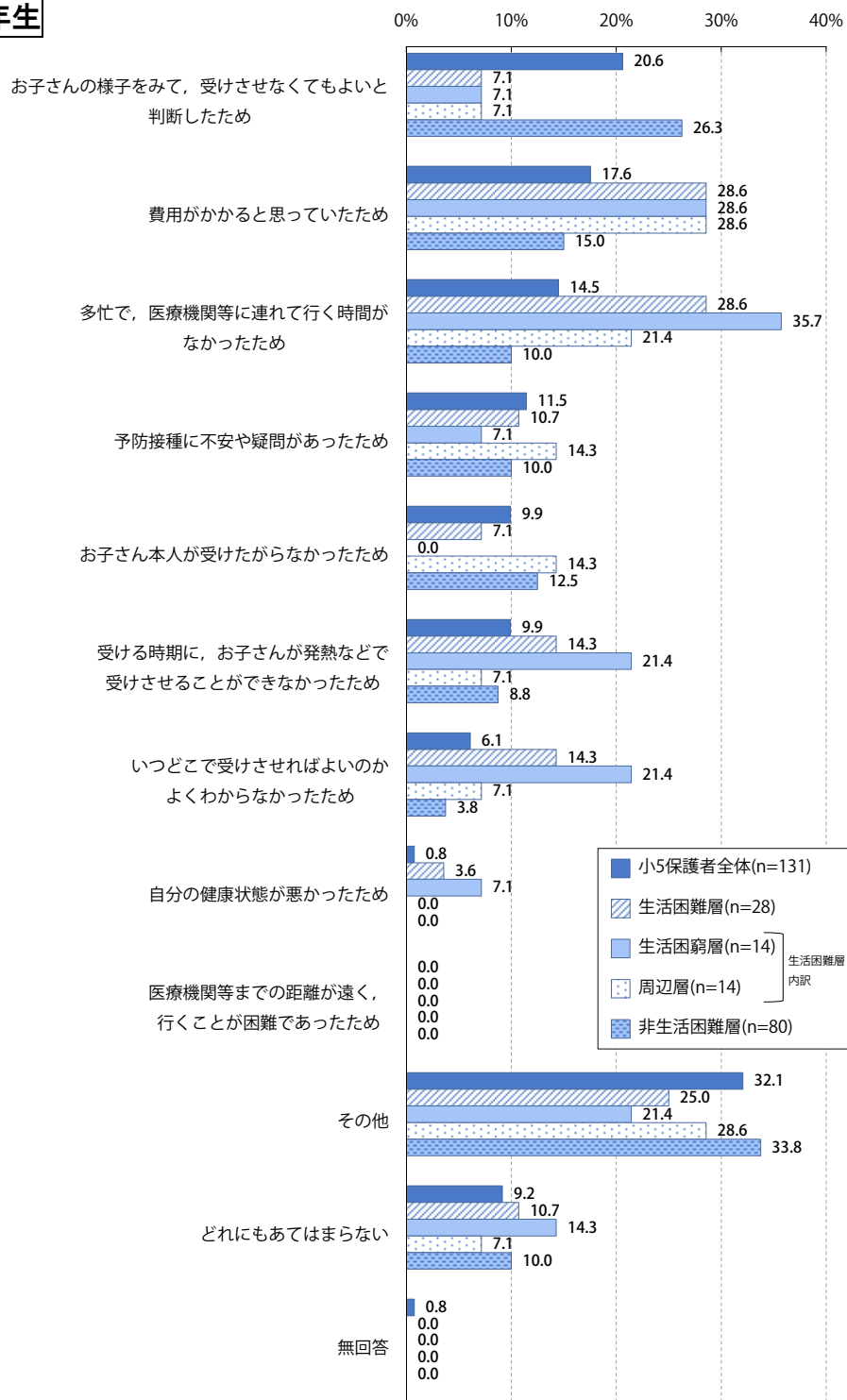


▼問 17「A 定期予防接種」について「2 受けなかった」と回答した人におうかがいします。
定期予防接種を受けないことがあったのはなぜですか。(保/問 17-1 複数回答)

定期予防接種を「受けなかった」と回答した人の理由として、小学5年生全体では、「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」が20.6%、「費用がかかると思っていたため」が17.6%となっています。

生活困窮層では「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が35.7%、「費用がかかると思っていたため」が28.6%となっています。また、21.4%が「いつどこで受けさせればよいのかよくわからなかったため」と回答しています。

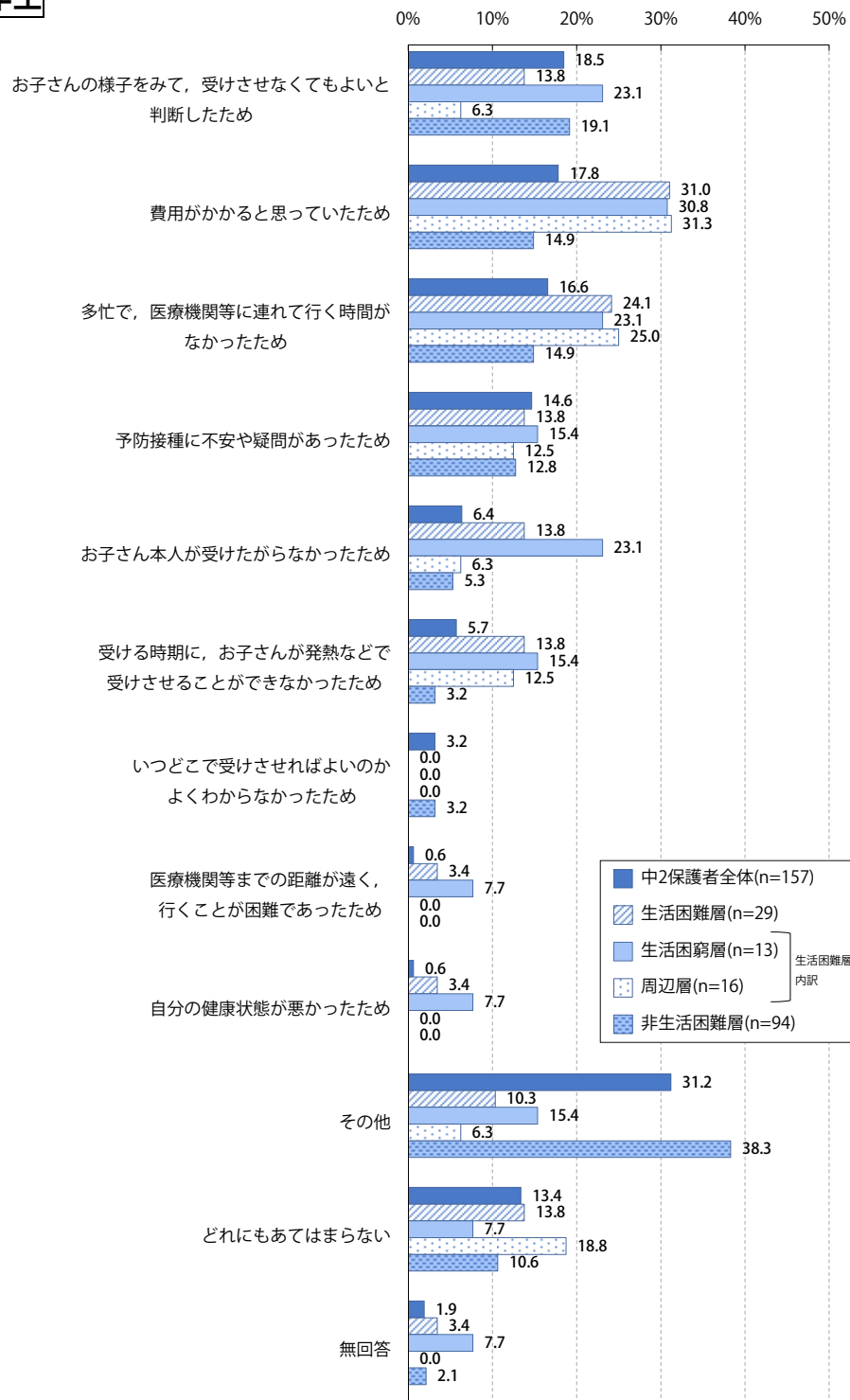
小学5年生



定期予防接種を「受けなかった」と回答した人の理由として、中学2年生全体では、「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」が18.5%、「費用がかかると思っていたため」が17.8%、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が16.6%となっています。

生活困窮層では「費用がかかると思っていたため」が30.8%、「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」及び「お子さん本人が受けたがらなかったため」が同率で23.1%となっています。

中学2年生



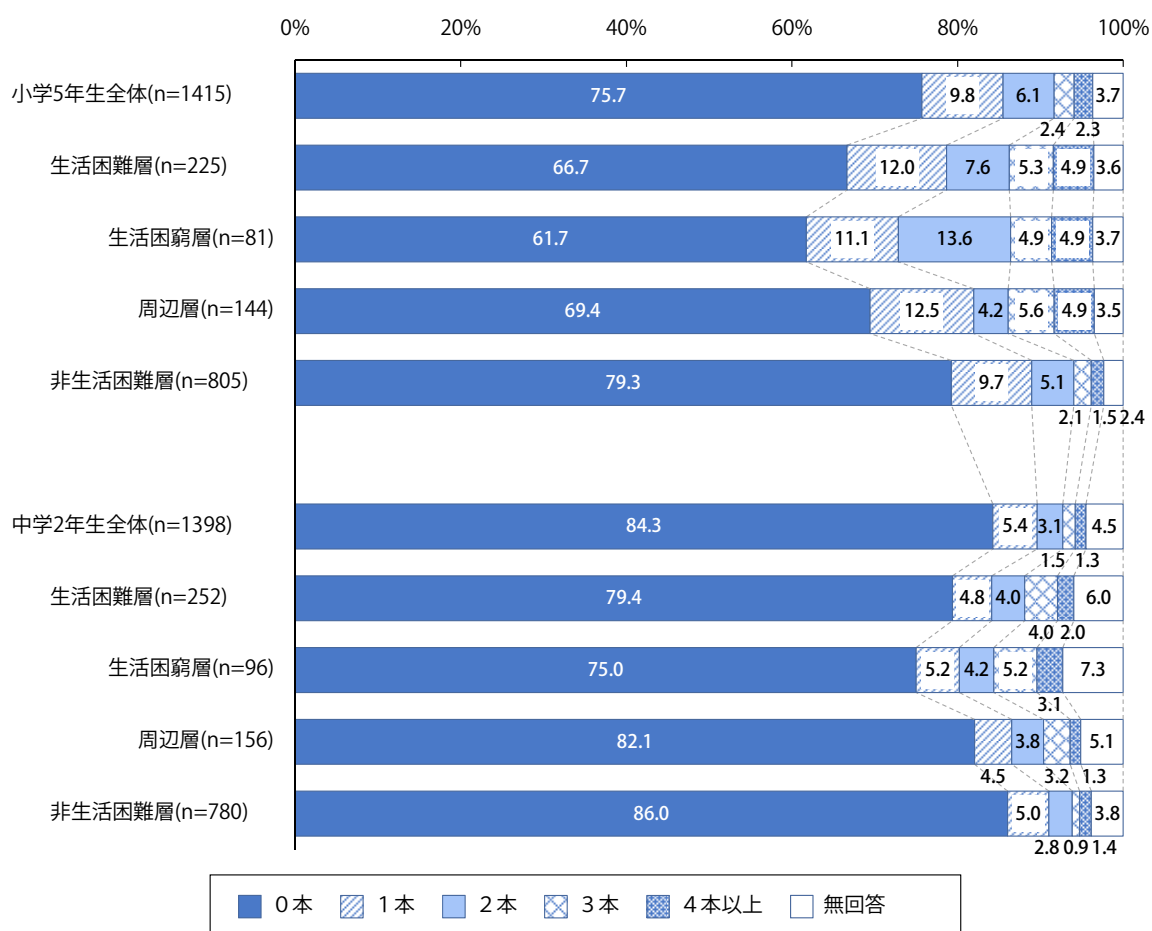
(5) 虫歯の本数

▼あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。(子/問 26)

※虫歯がない場合は、0本と書いてください。治療が終わったものは数えません。

虫歯の本数について、「1本」～「4本以上」を合わせた“ある”の割合は、小学5年生全体で20.6%、中学2年生全体で11.3%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で34.5%、周辺層で27.2%、非生活困難層で18.4%と生活困難度の高い層ほど“ある”の割合が高くなっています。中学2年生でも同様に生活困難度の高い層ほど“ある”の割合が高くなっています。



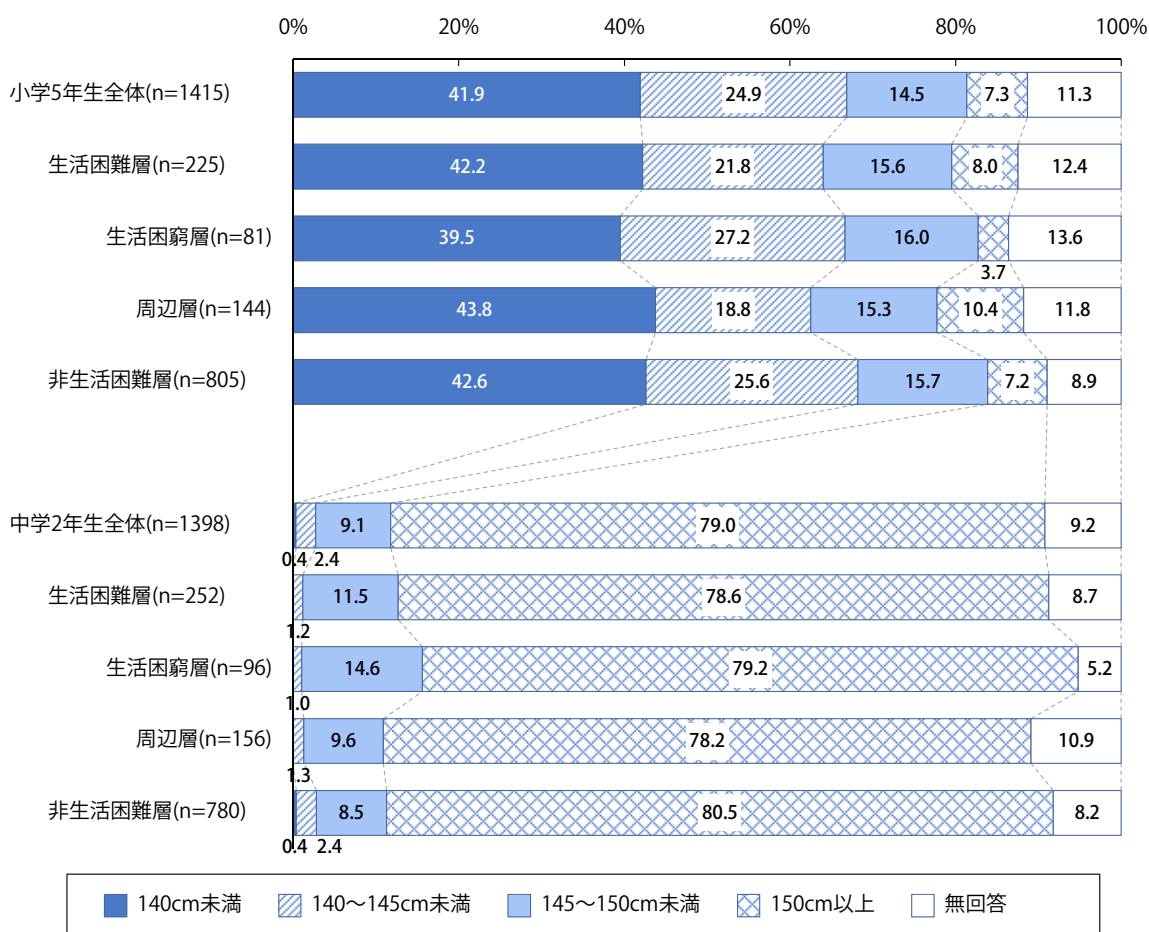
(6) 身長・体重

▼あなたの身長・体重を教えてください。(子/問2)

身長について、小学5年生全体では「140cm未満」が41.9%、「140～145cm未満」が24.9%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっています。

中学2年生では、「150cm以上」が8割前後と多数を占めており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

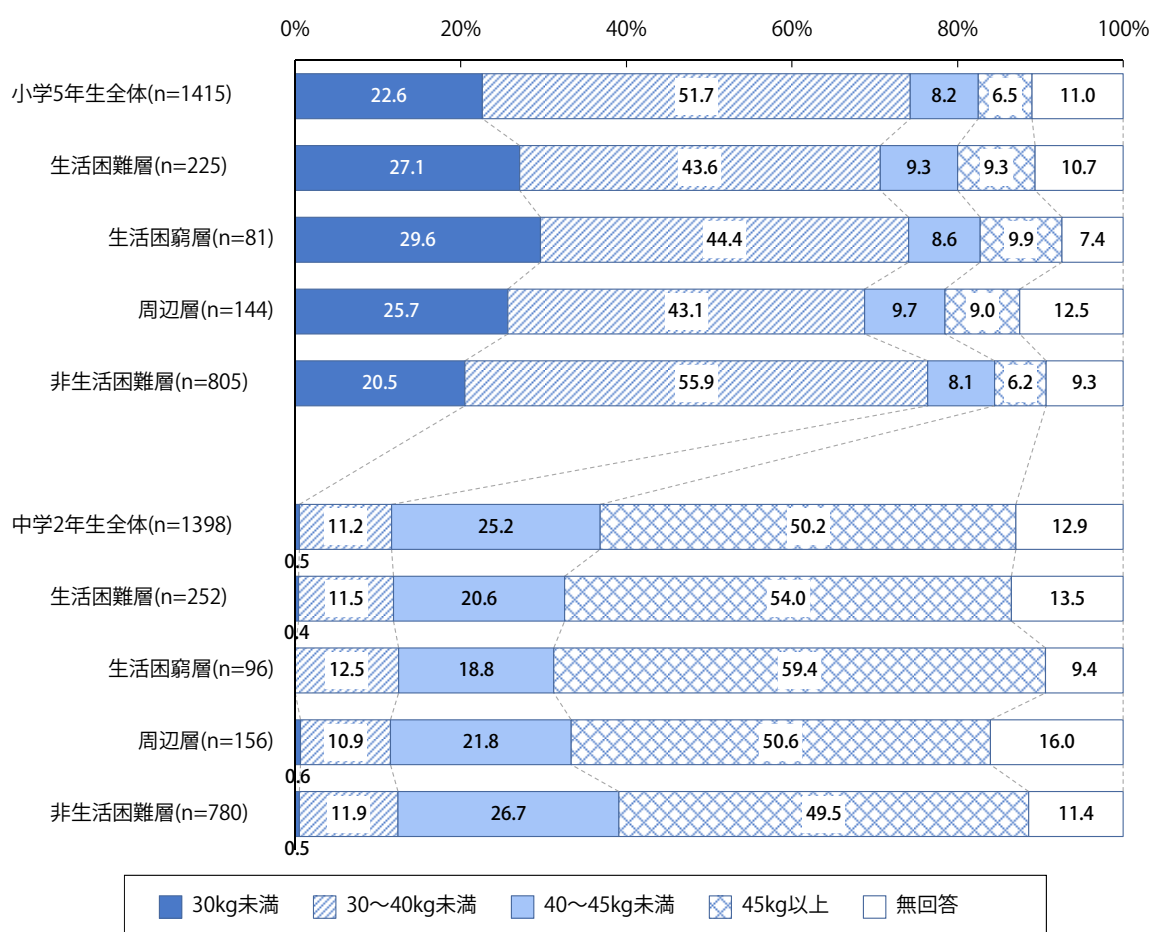
身長



体重について、小学5年生全体では「30～40kg未満」が51.7%、「30kg未満」が22.6%となっています。生活困難度別に「30kg未満」の割合をみると、生活困窮層で29.6%、周辺層で25.7%、非生活困難層で20.5%と生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。

中学2年生では、全体で「45kg以上」が50.2%、「40～45kg未満」が25.2%となっています。生活困難度別に「45kg以上」の割合をみると、生活困窮層で59.4%、周辺層で50.6%、非生活困難層で49.5%と生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。

体 重



2 自己肯定感

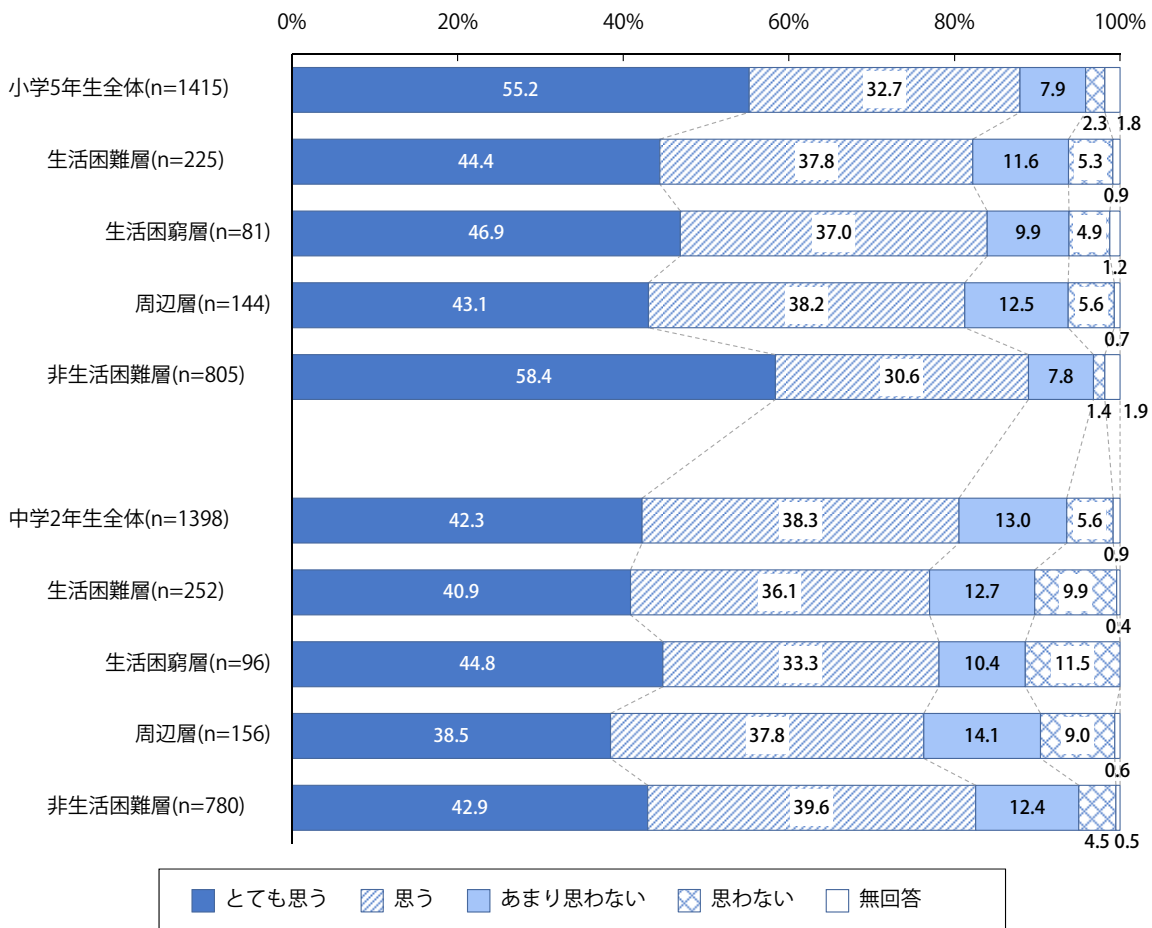
(1) 自己肯定感

▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

A がんばれば、むくわれる

がんばれば、むくわれると思うかについて、小学5年生では「とても思う」は、全体で55.2%、生活困難度別では、非生活困難層の58.4%に対し周辺層で43.1%と15ポイントほど低くなっています。また、「あまり思わない」「思わない」を合わせた割合は、非生活困難層の9.2%に対し周辺層で18.1%と約2倍となっています。

中学2年生では、「とても思う」は全体で42.3%、生活困難度別では、大きな差はみられません。また、「あまり思わない」「思わない」を合わせた割合は、非生活困難層の16.9%に対し、生活困窮層で21.9%、周辺層で23.1%と5~7ポイント高くなっています。



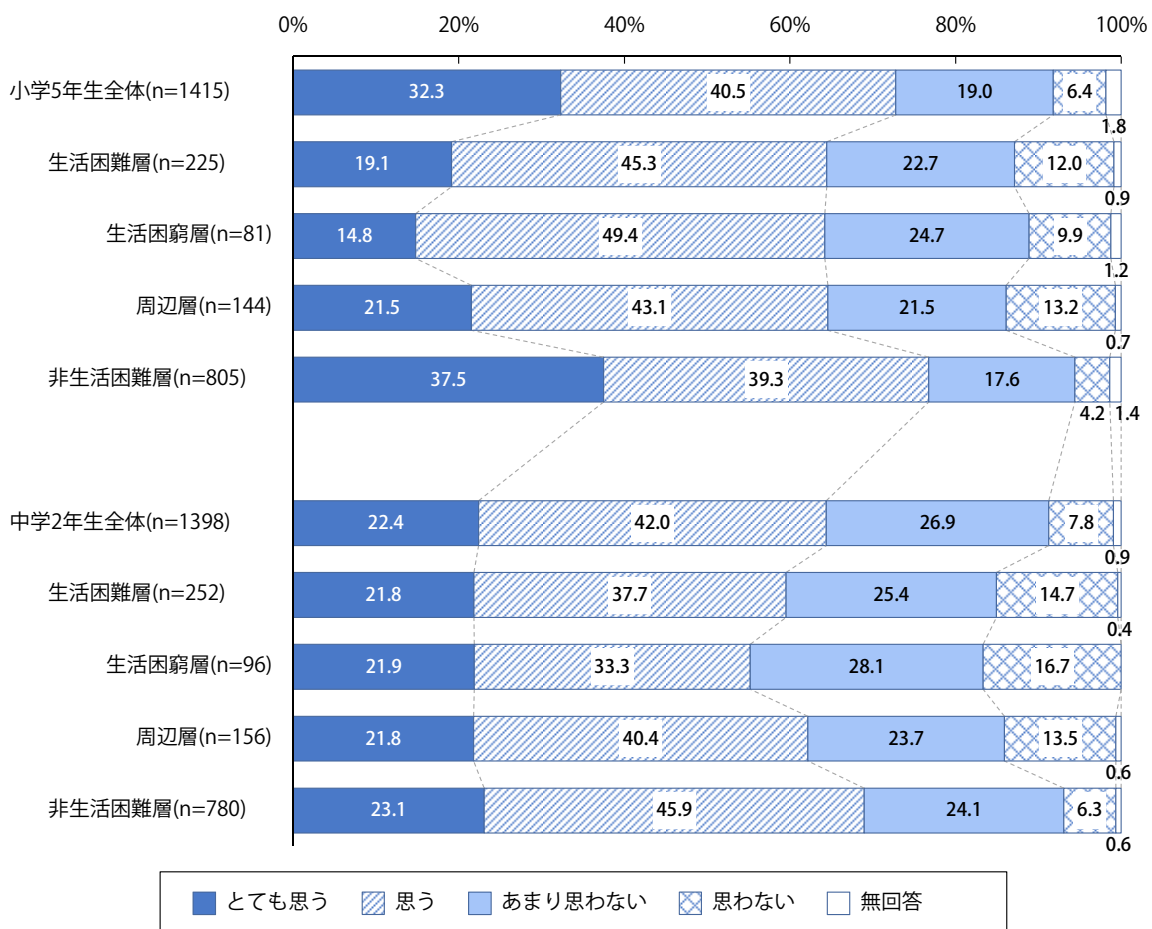
▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

B 自分は価値のある人間だ

自分は価値のある人間だと思うかについて、小学5年生全体では「とても思う」は32.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた割合は25.4%となっています。

生活困難度別に「とても思う」の割合をみると、生活困窮層で14.8%、周辺層で21.5%、非生活困難層で37.5%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

中学2年生では、「とても思う」は全体で22.4%となっており、生活困難度による差はみられません。一方、「あまり思わない」「思わない」を合わせた割合は、生活困窮層で44.8%、周辺層で37.2%、非生活困難層で30.4%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

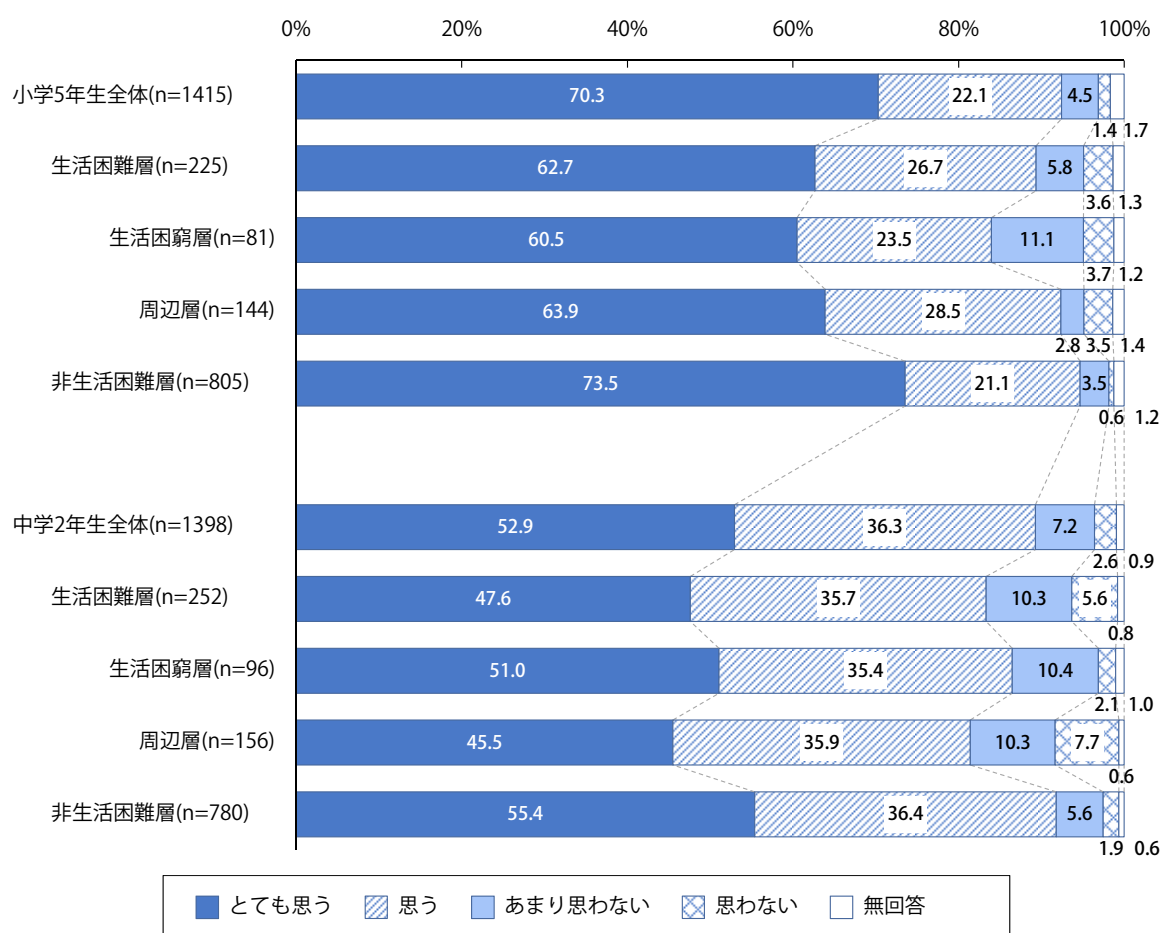


▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

C 自分は家族に大事にされている

自分は家族に大事にされていると思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた割合は、小学5年生全体では92.4%、生活困難度別では、生活困窮層で84.0%、周辺層で92.4%、非生活困難層で94.6%と生活困難度が高い層ほど低くなっていますが、割合は9割前後と多数が回答しています。

中学2年生では、小学5年生と比べ「とても思う」の割合はやや低くなっていますが、「思う」を合わせた割合は、全体で89.2%となっています。生活困難度別では、非生活困難層の91.8%に対し、周辺層で81.4%と10ポイント低くなっています。



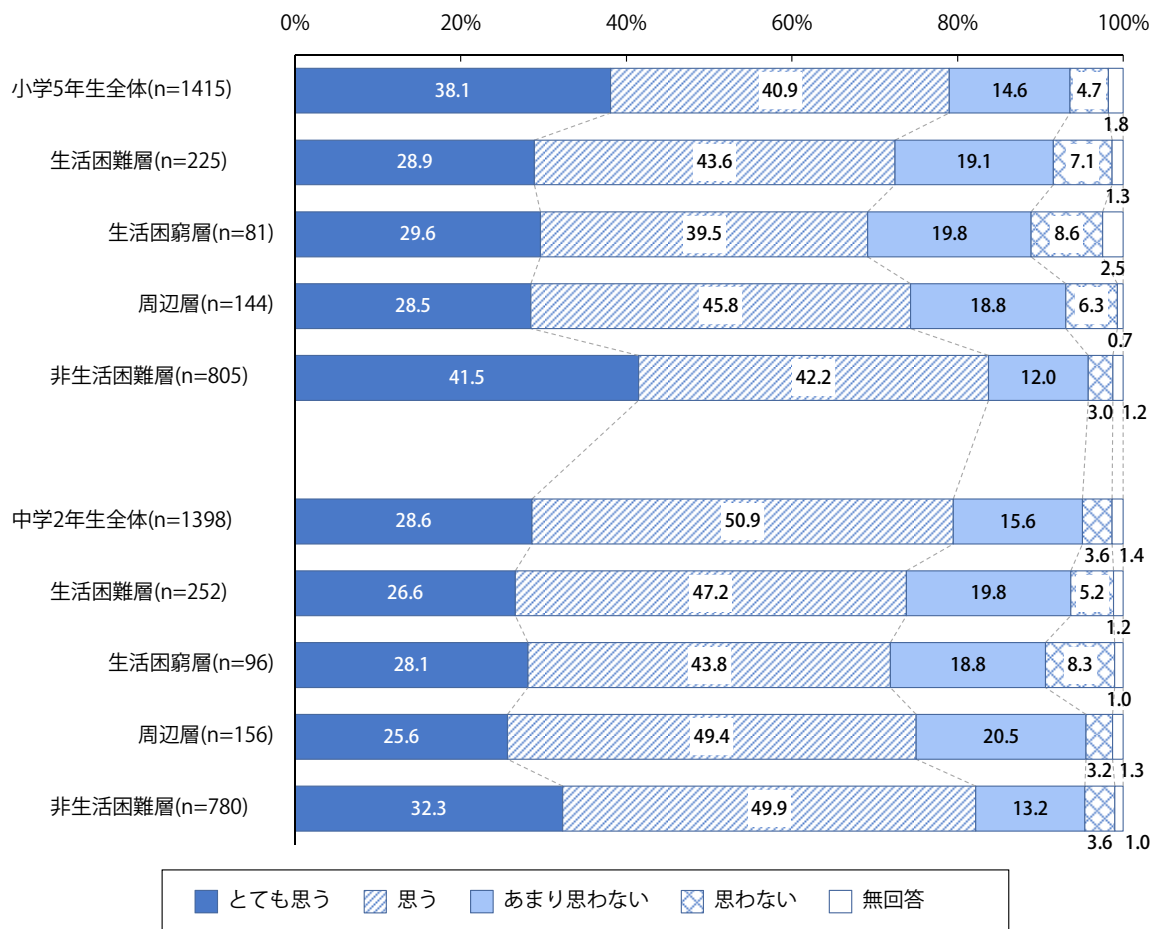
▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

D 自分は友だちに好かれている

自分は友だちに好かれていると思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた割合は、小学5年生全体で79.0%、中学2年生全体で79.5%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で69.1%、周辺層で74.3%、非生活困難層で83.7%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。

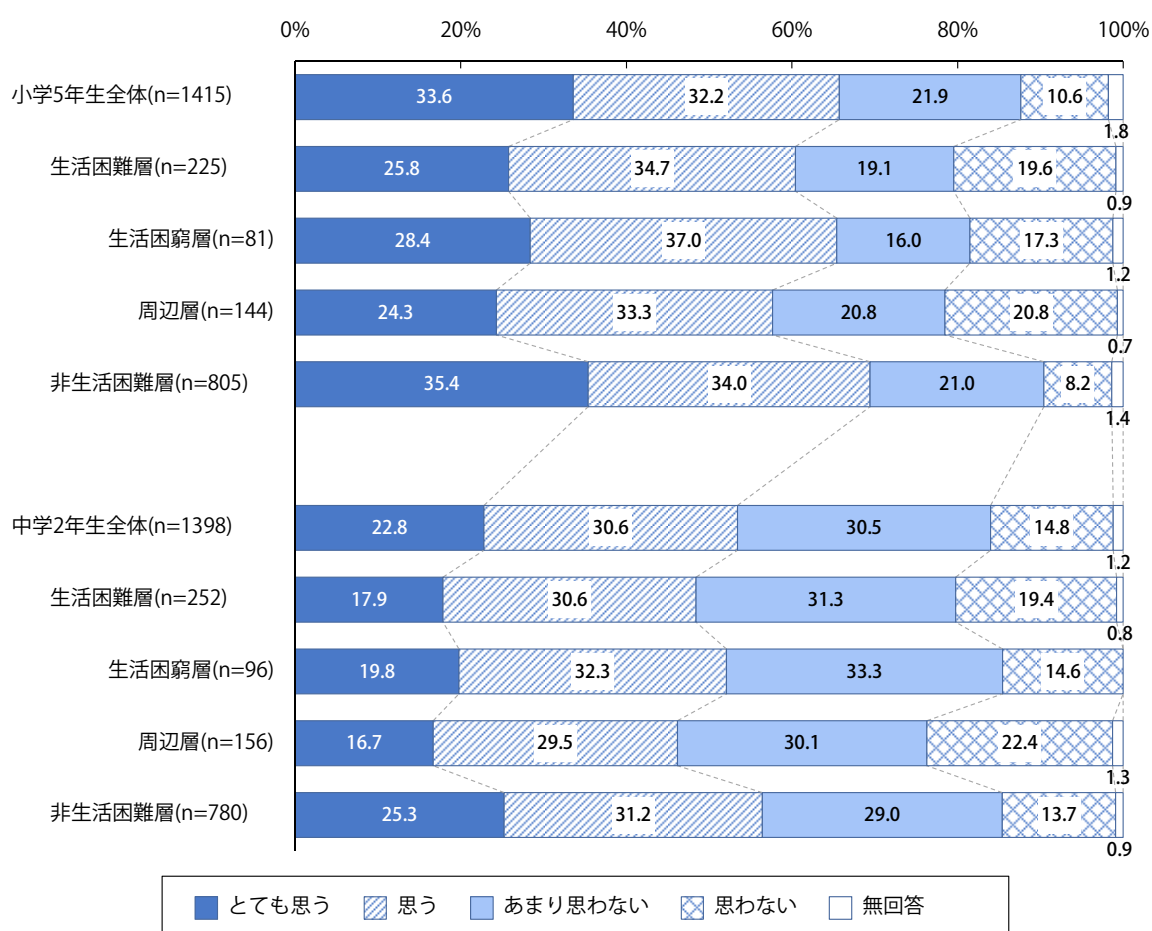


▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

E 不安に感じることはない

不安に感じることはないかについて、「あまり思わない」「思わない」を合わせた割合は、小学5年生全体で32.5%，生活困難度別にみると、非生活困難層の29.2%に対し、周辺層で41.6%と12ポイントほど高くなっています。

中学2年生では小学5年生に比べ10ポイントほど高く、全体で45.3%，生活困窮層で47.9%，周辺層で52.5%，非生活困難層で42.7%となっており、中学2年生の4～5割は不安を感じている状況がうかがえます。

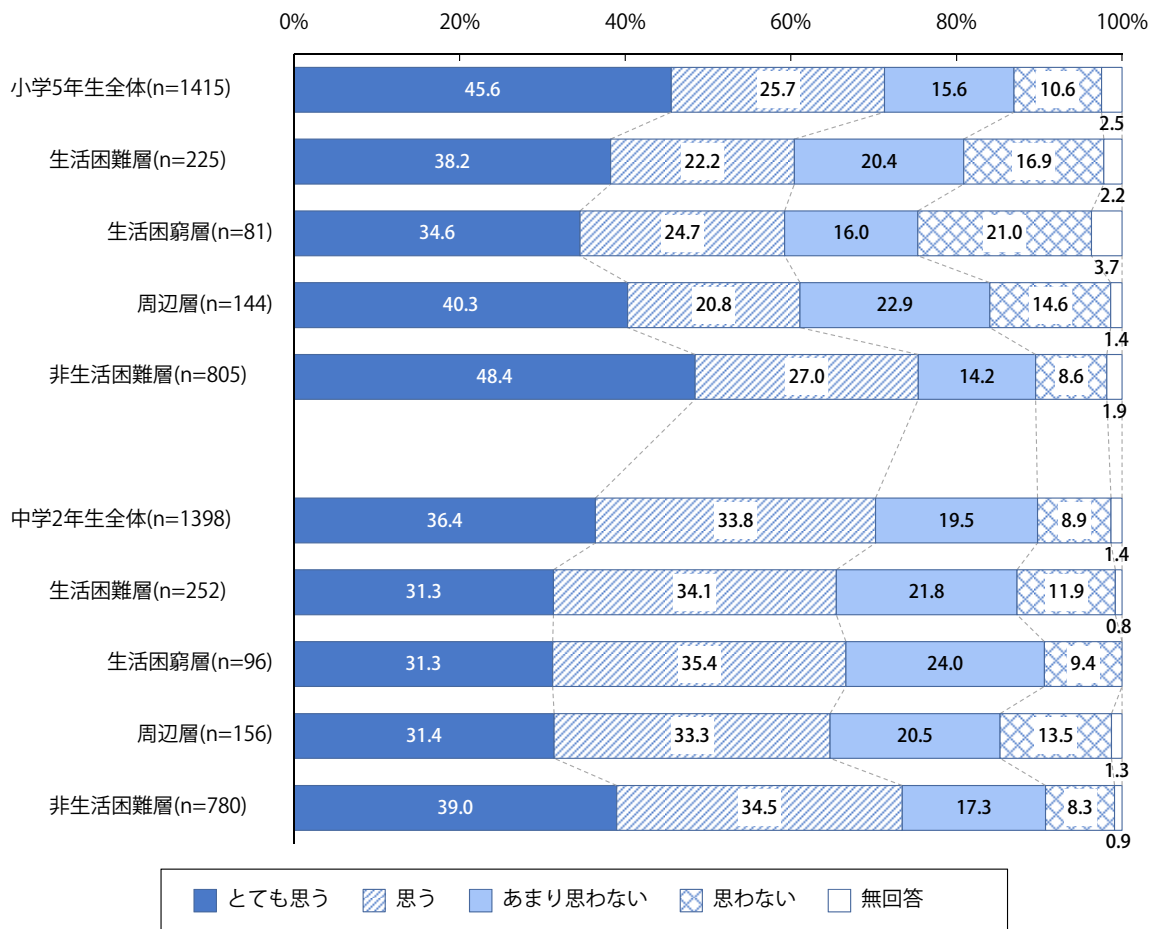


▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

F 孤独を感じることはない

孤独とを感じることはないかについて、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合は、小学5年生全体で26.2%、生活困難度別では、非生活困難層の22.8%に対し生活困窮層で37.0%、周辺層で37.5%と15ポイントほど高くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっており、2～3割は孤独を感じている状況がうかがえます。

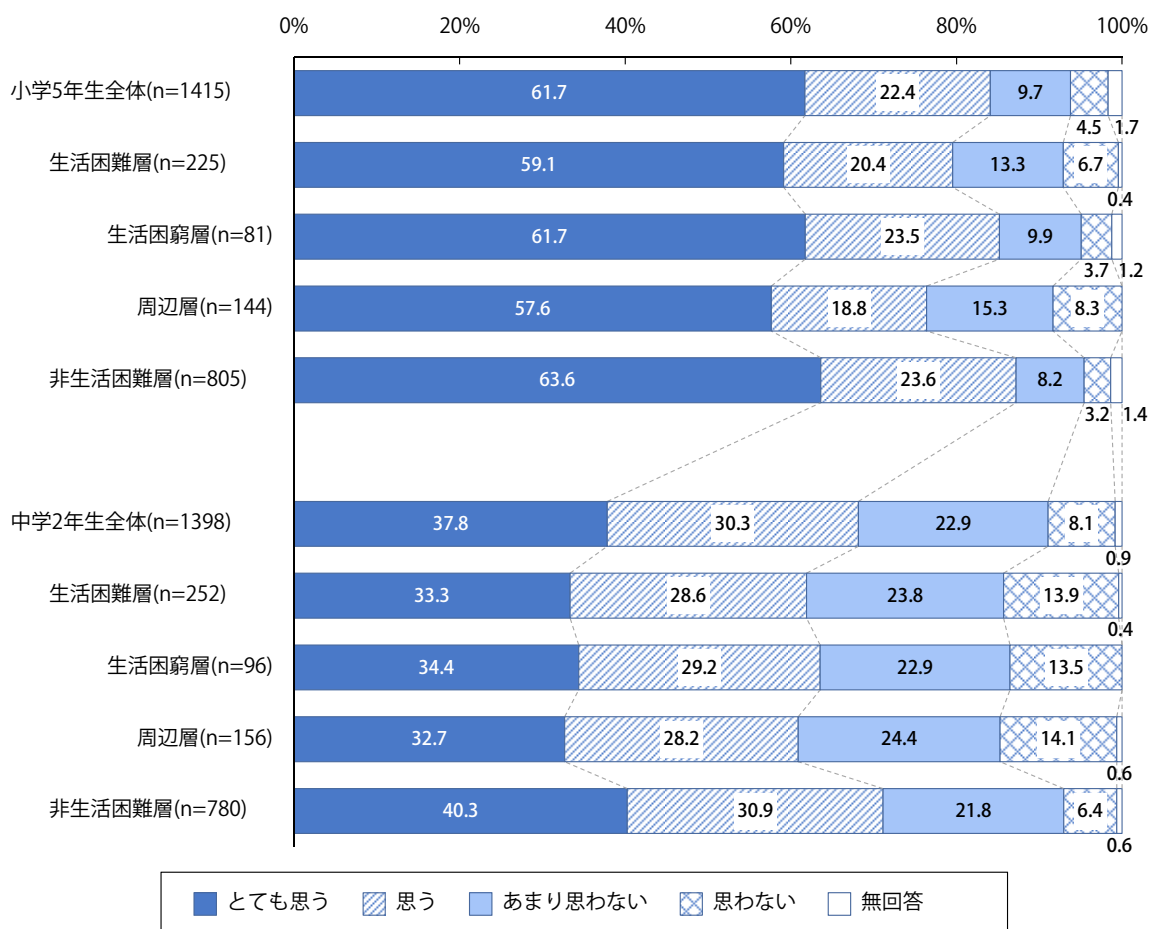


▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

G 自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだと思うかについて、小学5年生では、「とても思う」と「思う」を合わせた割合は全体で84.1%と高く、生活困難度別では、非生活困難層の87.2%に対し周辺層で76.4%と10ポイントほど低くなっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ「あまり思わない」「思わない」を合わせた割合が高く全体で31.0%となっています。生活困難度別にみると、非生活困難層の28.2%に対し、生活困窮層で36.4%、周辺層で38.5%と8~10ポイント高くなっており、将来に不安を感じている状況がうかがえます。

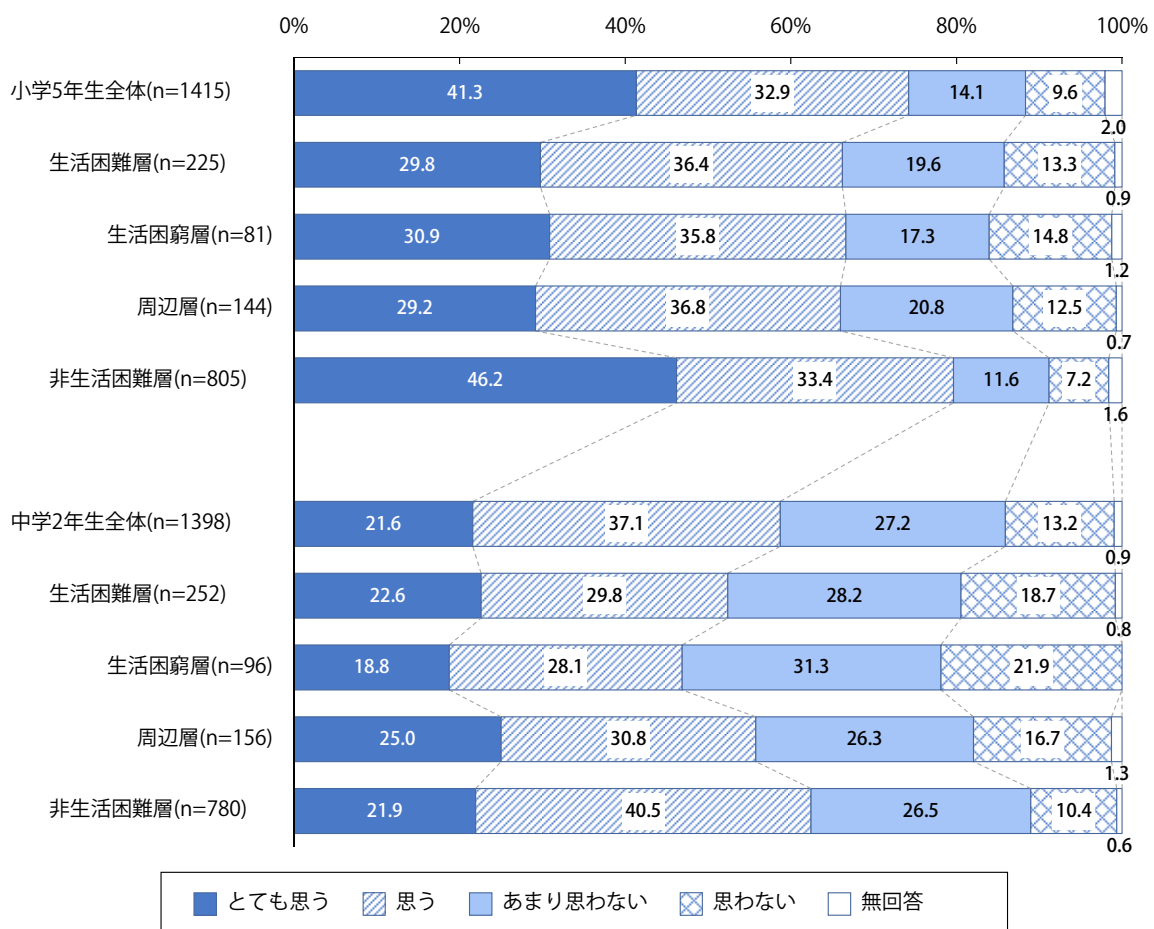


▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

H 自分のことが好きだ

自分のことが好きだと思うかについて、小学5年生では、「とても思う」と「思う」を合わせた割合は全体で 74.2%，生活困難度別では、非生活困難層の 79.6%に対し生活困窮層で 66.7%，周辺層で 66.0%と 13 ポイントほど低くなっています。

中学2年生全体では、小学5年生に比べ「とても思う」の割合は低く、「思う」を合わせた割合でも 58.7%と 15 ポイントほど低くなっています。生活困難度別では生活困窮層で「とても思う」が 18.8%と低い一方、「あまり思わない」「思わない」を合わせた割合が 53.2%と半数以上が否定的な回答をしています。



(2) 心の状態

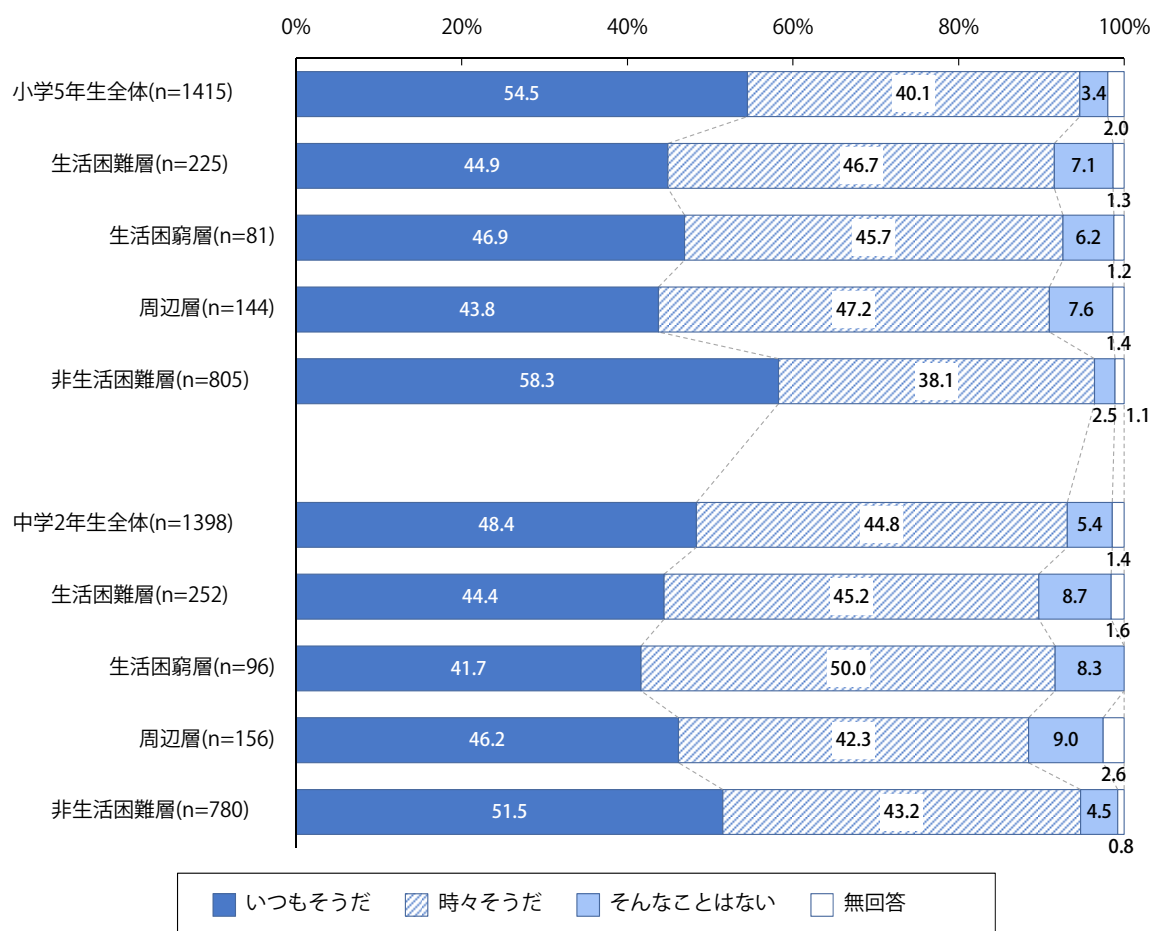
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

A 楽しみにしていることがたくさんある

楽しみにしていることがたくさんあるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生全体で94.6%、中学2年生全体で93.2%となっています。

生活困難度別でも中学2年生の周辺層で88.5%と9割に満たないものの、他の層では9割を超えており、多数が楽しみにしていることがたくさんあると回答しています。



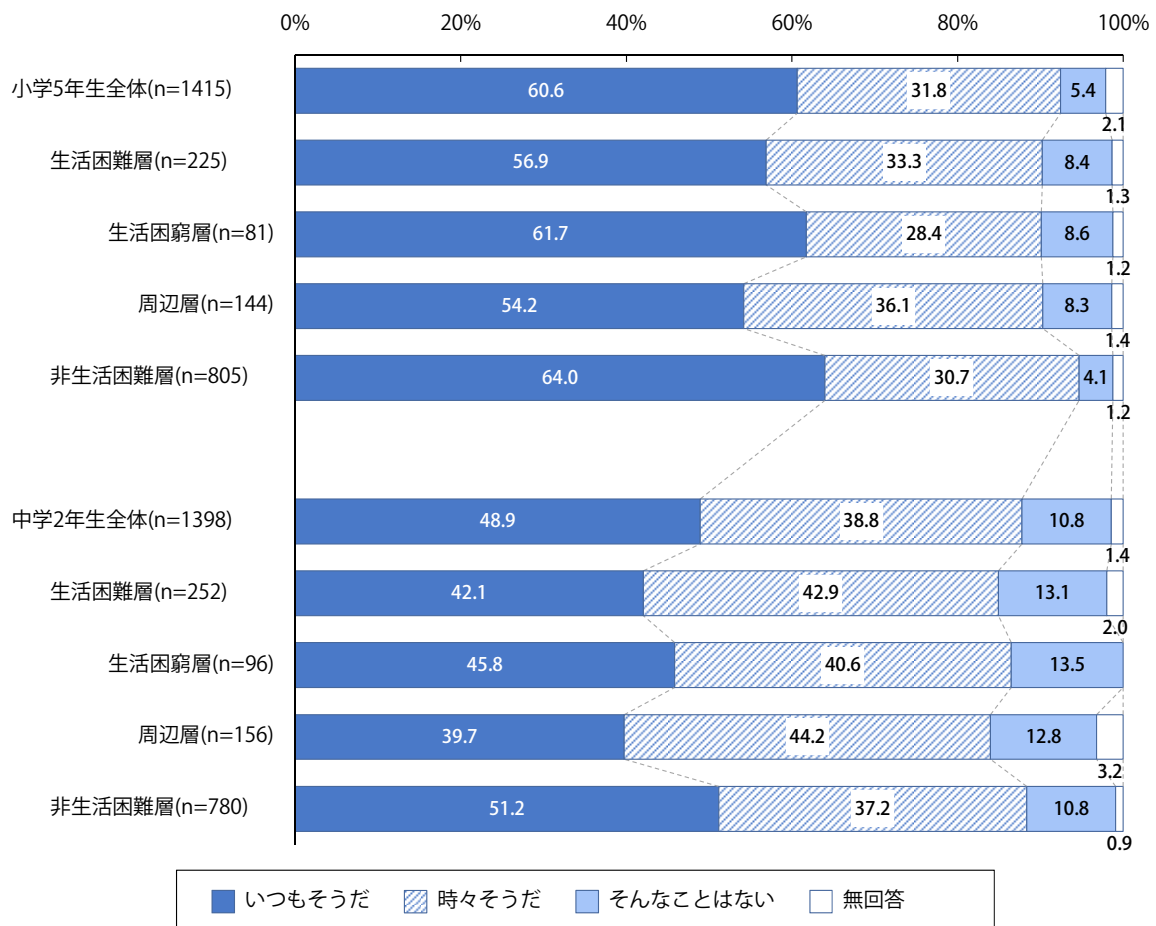
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに答えてください。(子/問 40)

B とても良く眠れる

とても良く眠れるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生全体で92.4%、中学2年生全体で87.7%と多数を占めています。

生活困難度別でも大きな差はみられず、全ての層で8割超と多数を占めています。



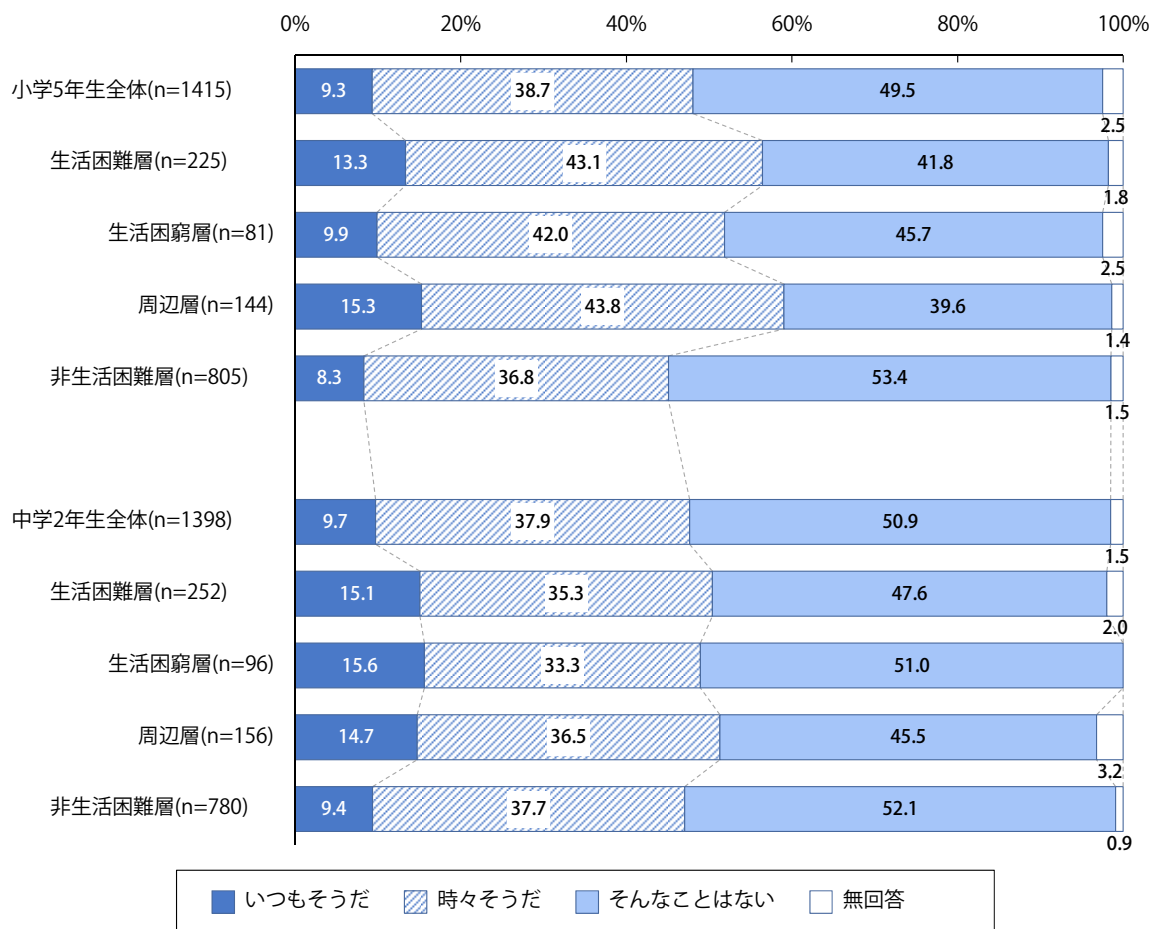
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

C 泣きたいような気がする

泣きたいような気がするかについて、「そんなことはない」が約半数を占め、小学5年生全体で49.5%、中学2年生全体で50.9%となっています。

生活困難度別でみると、小学5年生では、非生活困難層の53.4%に対し、周辺層で39.6%と14ポイントほど低くなっています。中学2年生では生活困難度による大きな差はみられず、約半数が「そんなことはない」と回答しています。



▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

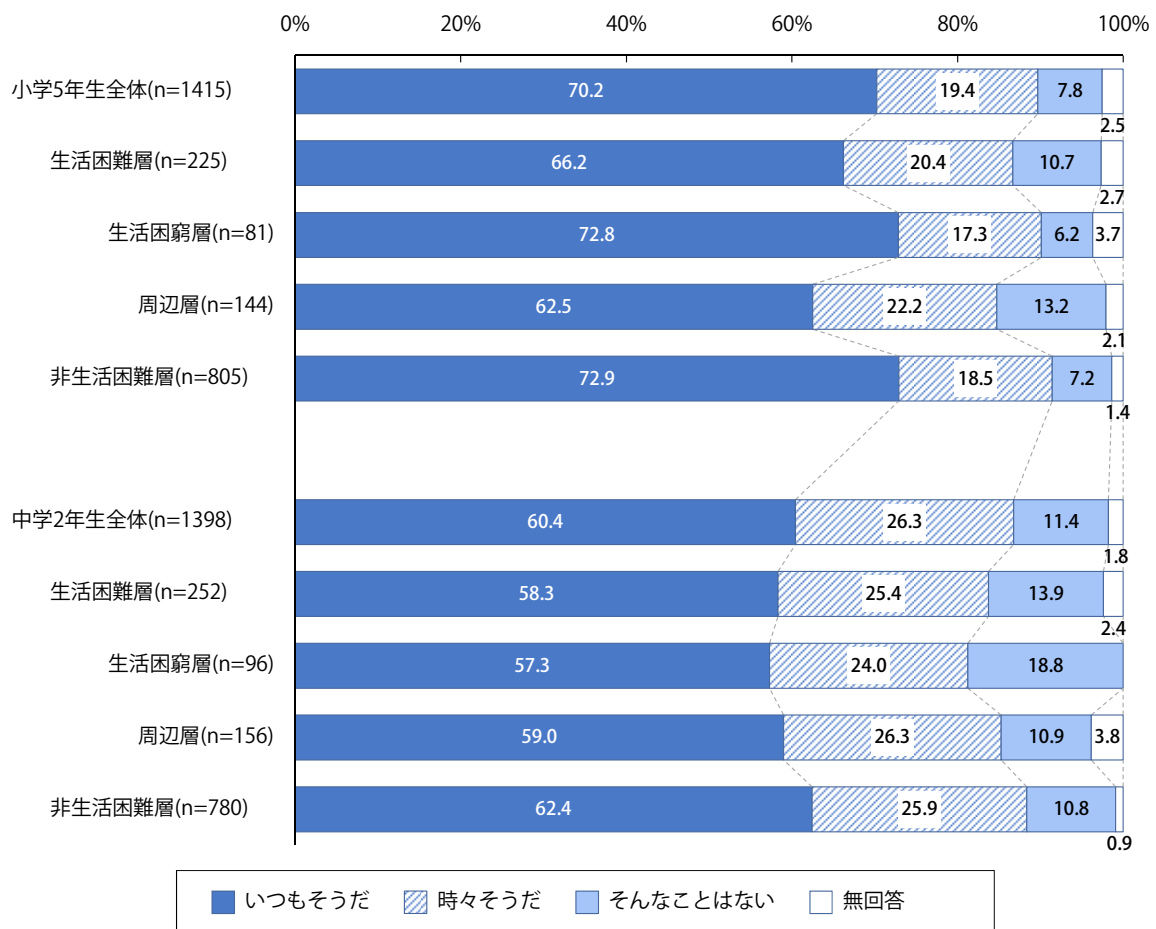
この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

D 遊びに出かけるのが好きだ

遊びに出かけるのが好きだについて、小学5年生では「いつもそうだ」が多数を占めており、全体で70.2%、「時々そうだ」を合わせると89.6%と多数を占めています。

生活困難度別でも8~9割と多数を占めており、生活困難度による差はみられません。

中学2年生でも「いつもそうだ」「時々そうだ」を合わせた割合は全ての層で8割を超え高くなっています。



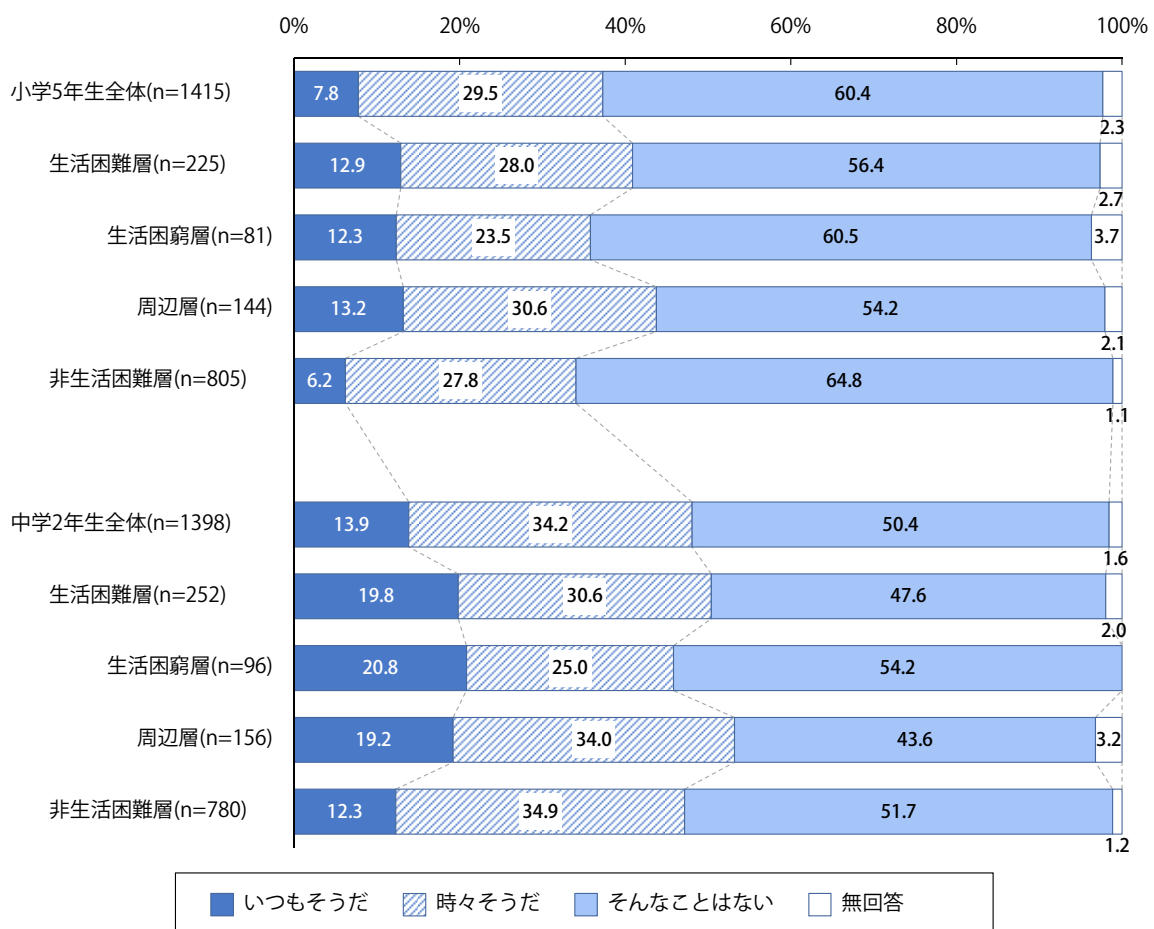
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

E 逃げ出したいような気がする

逃げ出したいような気がするかについて、小学5年生では、「そんなことはない」がいずれも6割前後と生活困難度による大きな差はみられません。

中学2年生では小学5年生に比べ「そんなことはない」の割合が10ポイントほど低く、全体で50.4%となっています。一方、「いつもそうだ」「時々そうだ」を合わせた割合を生活困難度別で見ると、生活困窮層で45.8%，周辺層で53.2%，非生活困難層で47.2%と中学2年生では約半数が逃げ出したい気がすると回答しています。

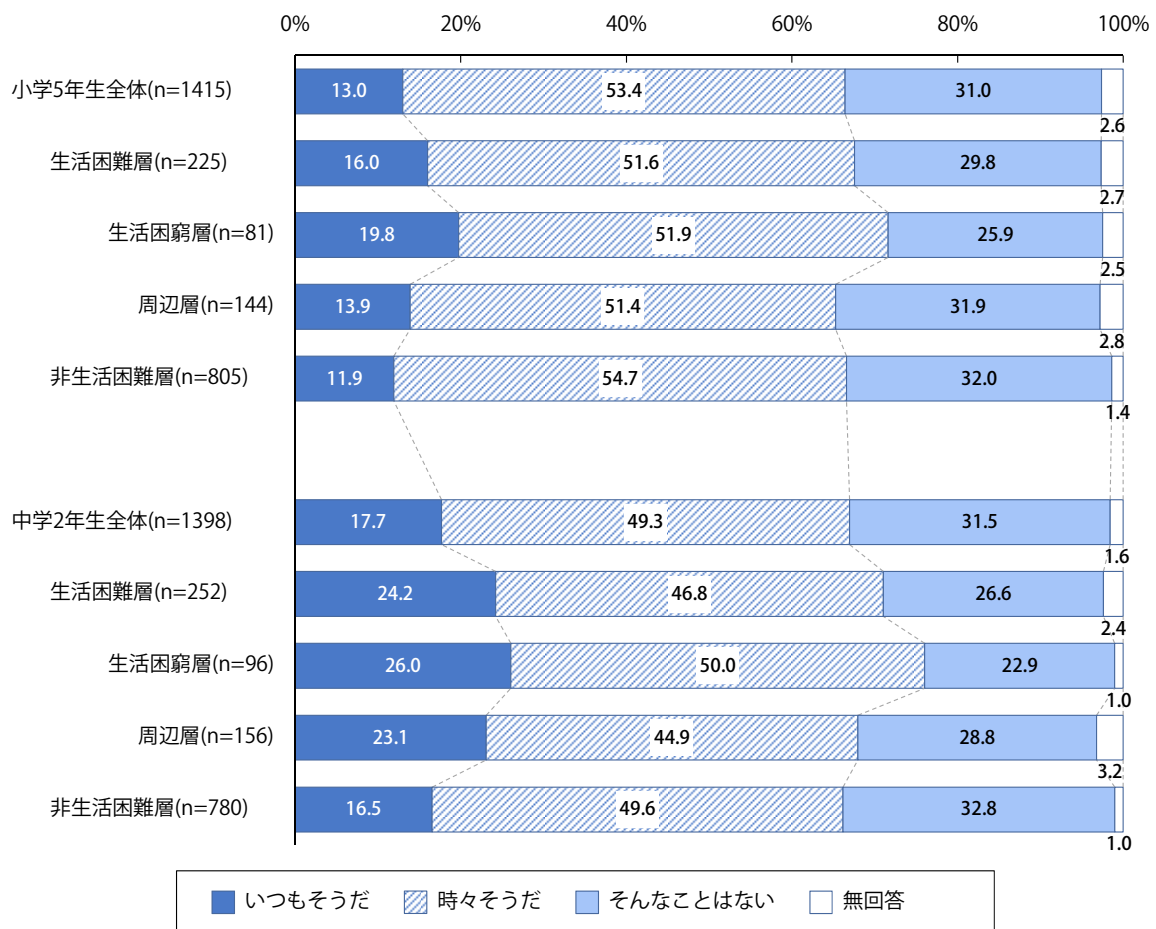


▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

F おなかが痛くなることがある

おなかが痛くなることがあるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生全体では66.4%，中学2年生全体では67.0%と6割を超えています。生活困難度別にみると、小学5年生では生活困窮層で71.7%と高く、中学2年生では、生活困窮層で76.0%，周辺層で68.0%，非生活困難層で66.1%と生活困難度が高い層ほど割合は高くなっています。



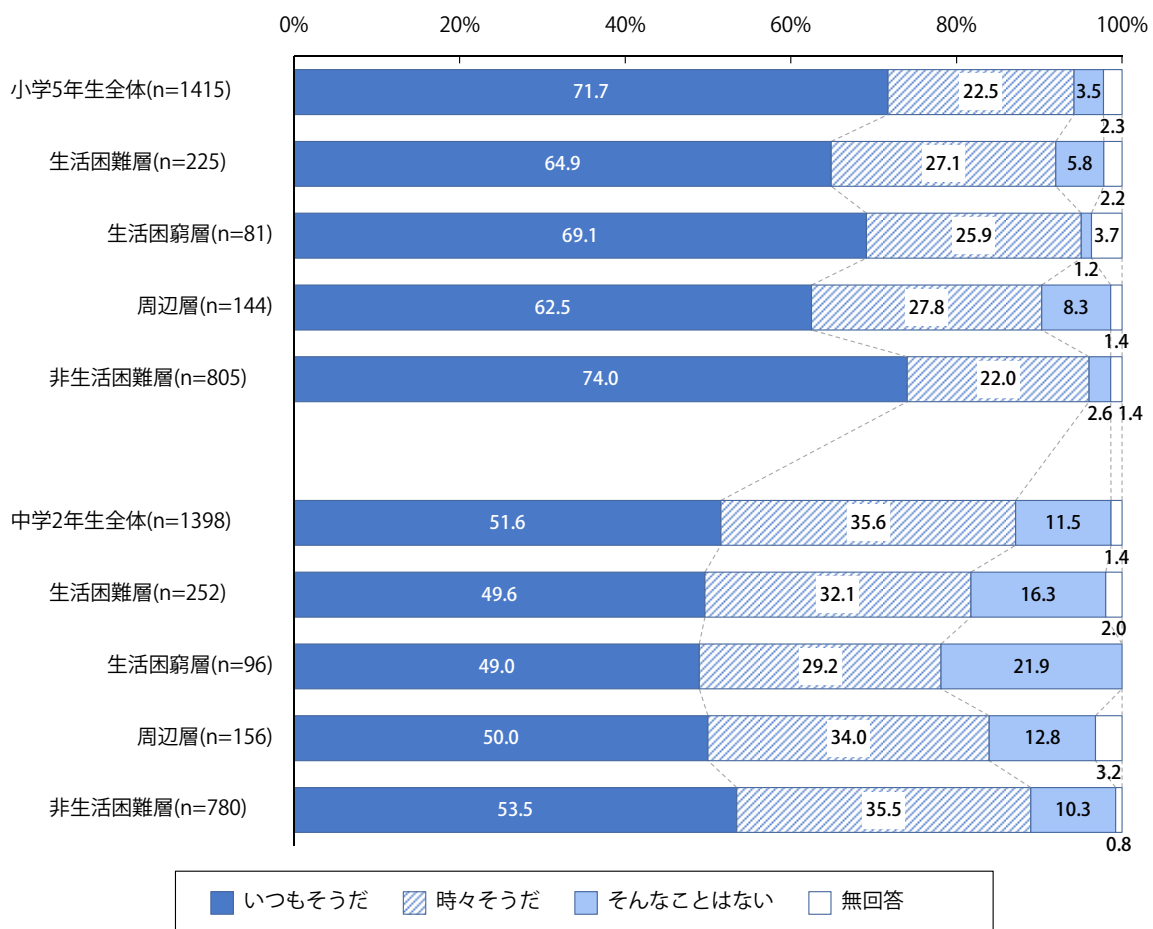
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

G 元気いっぱいだ

元気いっぱいだと思うかについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は9割を超え、生活困難度による大きな差はみられません。

中学2年生では全体で87.2%、生活困難度別でも多数を占めていますが、生活困窮層で78.2%、周辺層で84.0%、非生活困難層で89.0%と生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。

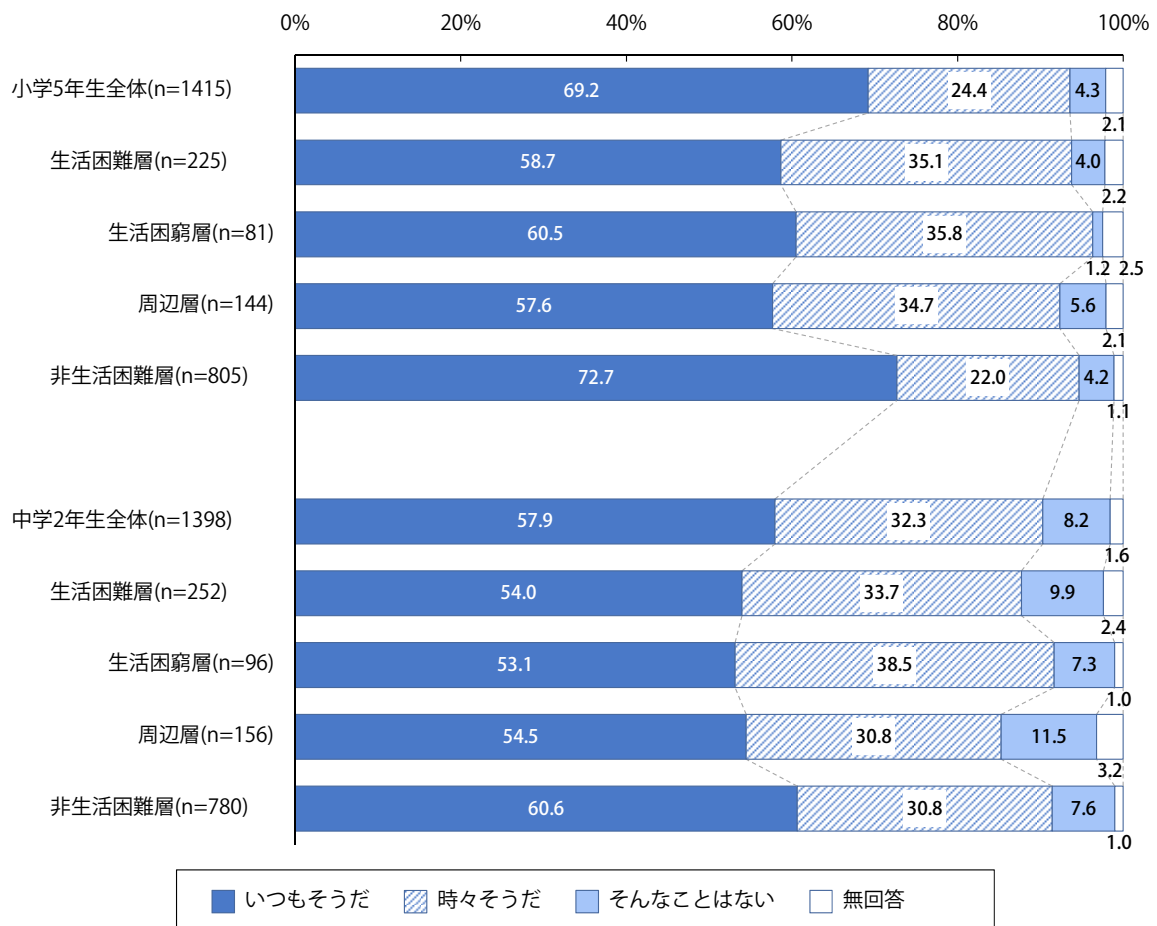


▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

H 食事が楽しい

食事が楽しいと思うかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生では9割を超え、中学2年生でも9割前後と多数を占めており、生活困難度による大きな差はみられません。



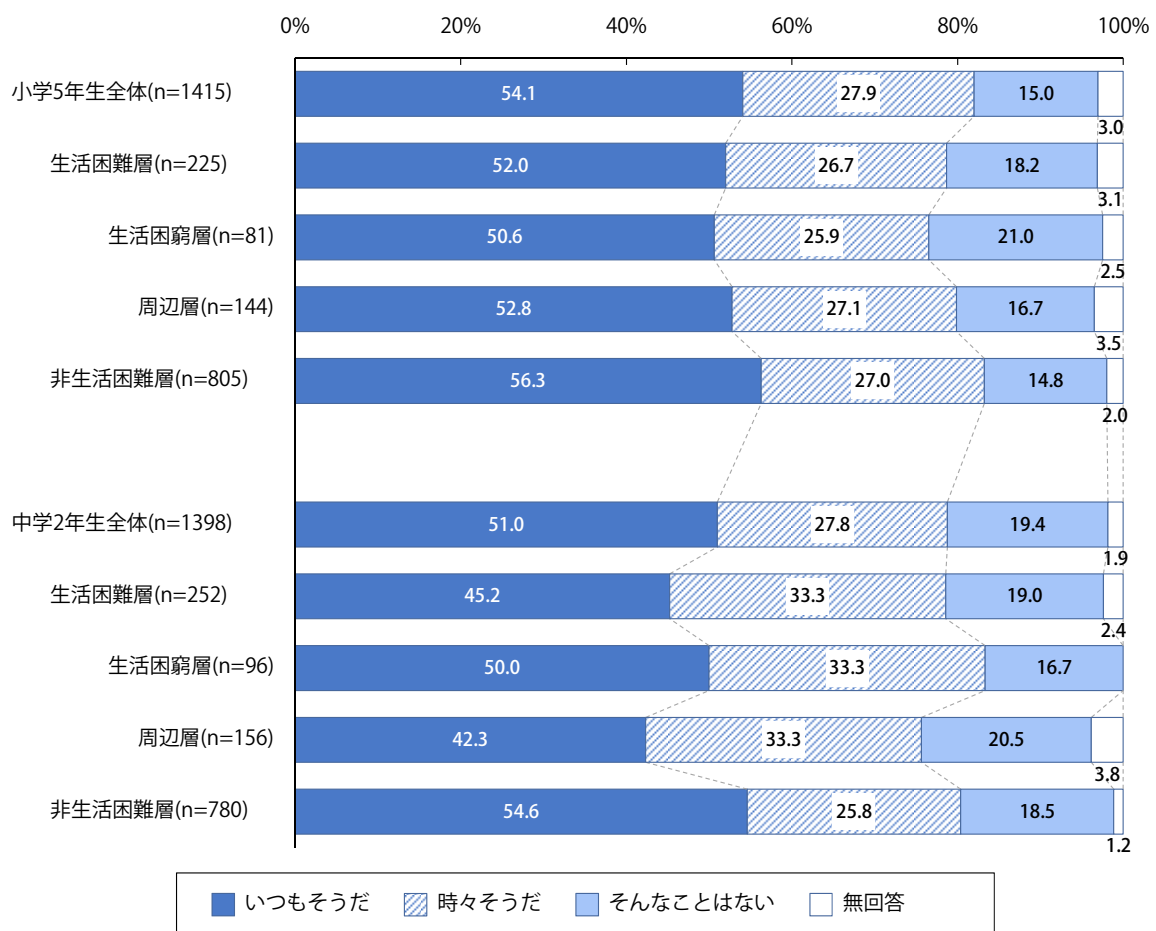
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

1 いじめられても自分で「やめて」と言える

いじめられても自分で「やめて」と言えるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生全体で82.0%，生活困難度別では、生活困窮層で76.5%，周辺層で79.9%，非生活困難層で83.3%となっており、生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。

中学2年生では、全体で78.8%，生活困難度別では、非生活困難層の80.4%に対し生活困窮層では83.3%と高く、周辺層で75.6%と低くなっています。



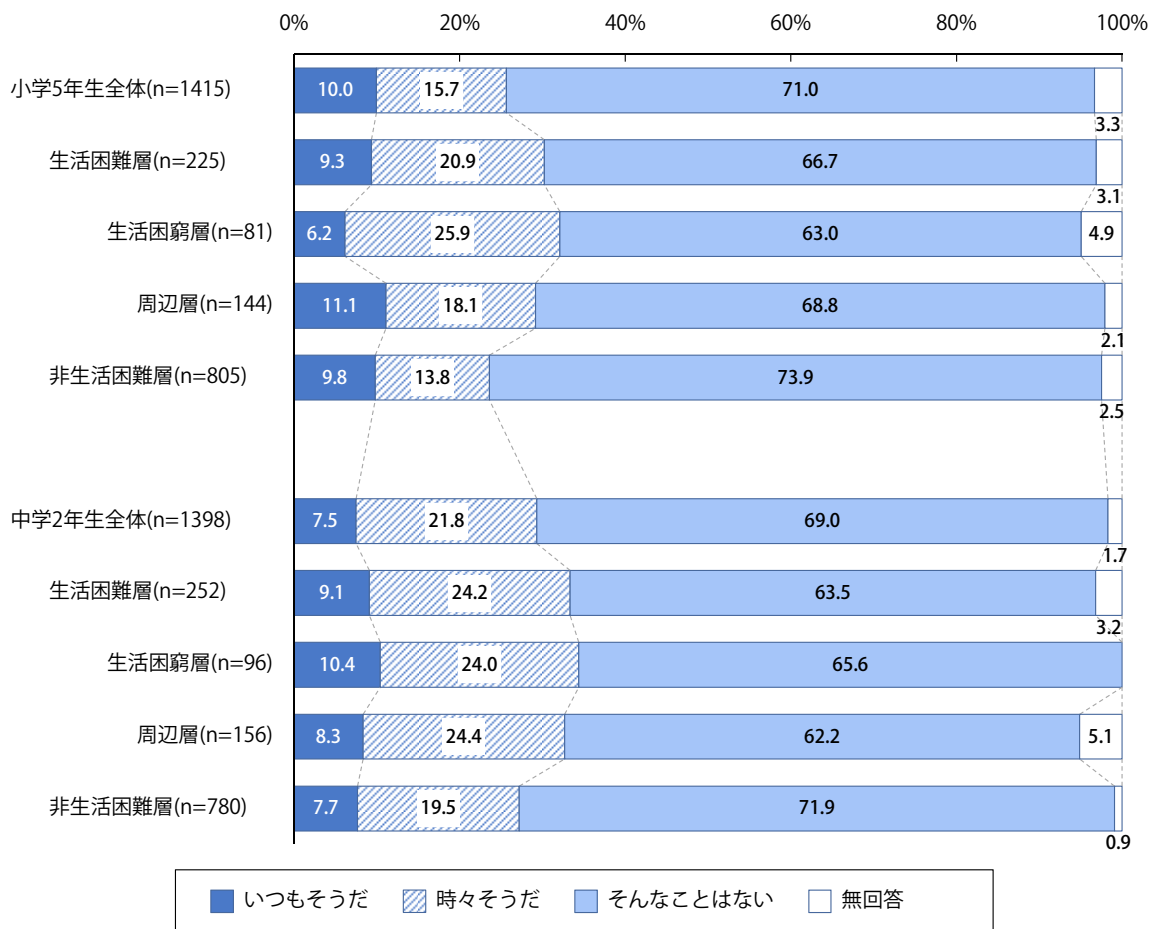
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

Ｊ 生きていても仕方がないと思う

生きていても仕方がないと思うかについて、「そんなことはない」が6～7割を占めている一方、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で32.1%、周辺層で29.2%、非生活困難層で23.6%と生活困難度が高い層ほど、気力がない割合が高くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっています。



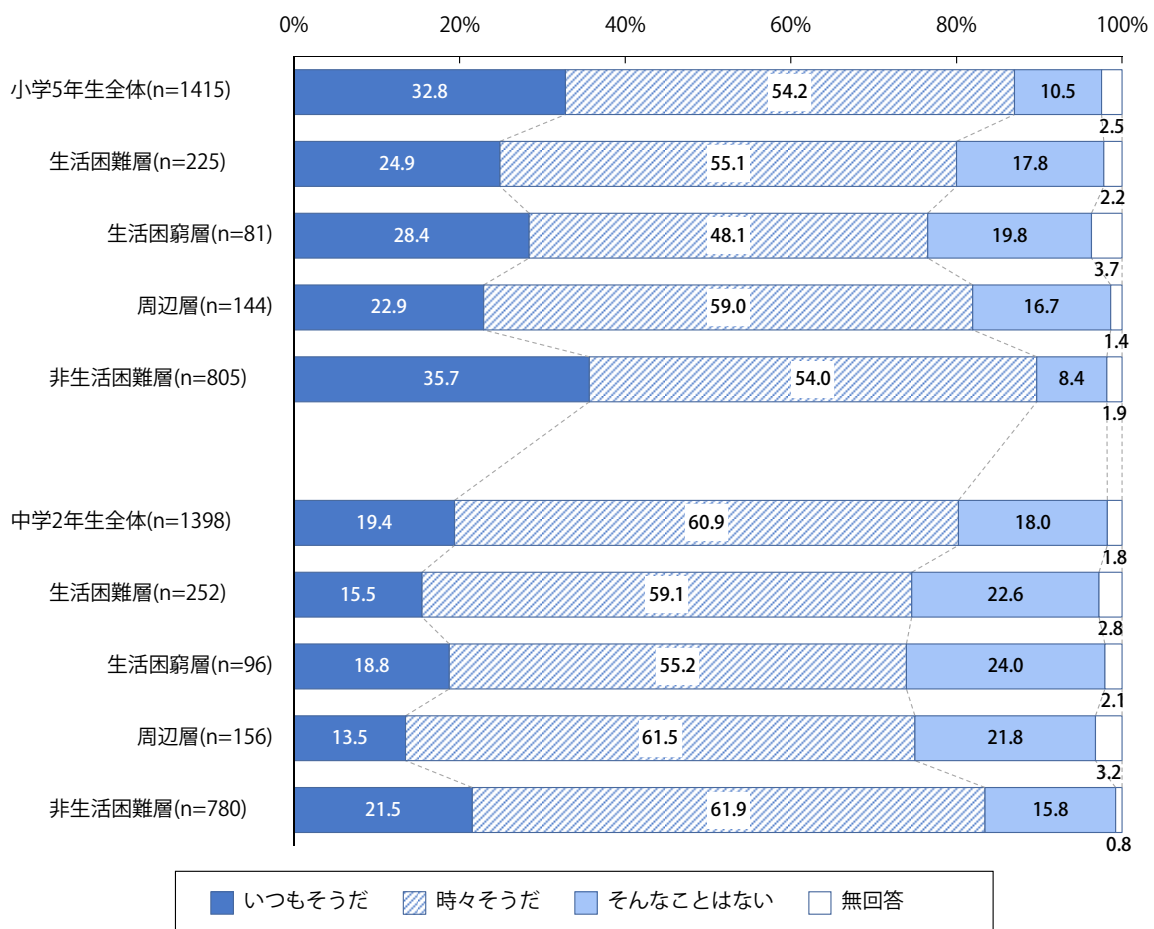
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

K やろうと思ったことがうまくできる

やろうと思ったことがうまくできるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は8割前後と多数を占めている一方、「そんなことはない」の割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で19.8%，周辺層で16.7%，非生活困難層で8.4%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

中学2年生でも、小学5年生ほど生活困難度による差はありませんが、同様の傾向となっています。



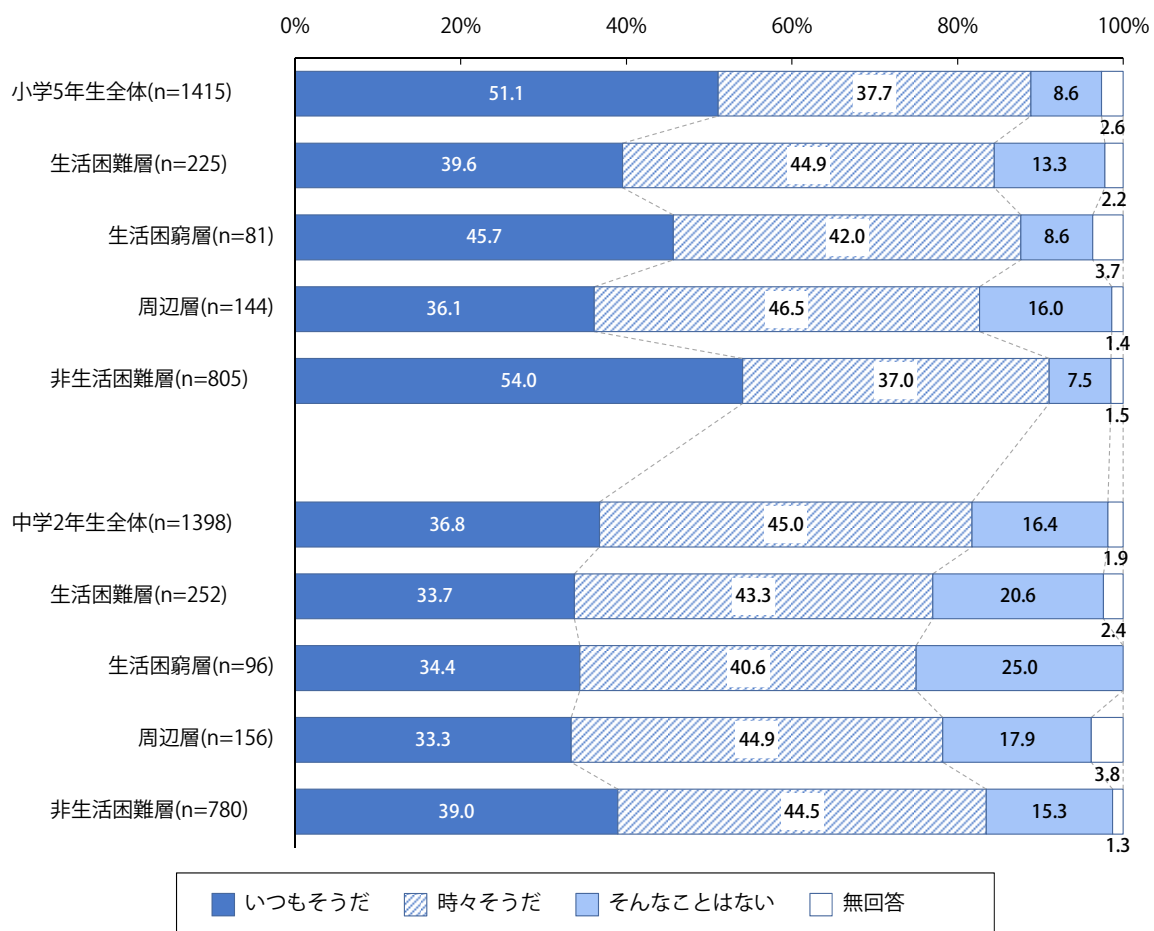
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったおりに答えてください。(子/問 40)

L いつものように何をしても楽しい

いつものように何をしても楽しいかについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は8割を超えている一方、「そんなことはない」が周辺層で16.0%とやや高くなっています。

中学2年生でも、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は7割を超え多数を占めている一方、「そんなことはない」を生活困難度別にみると、生活困窮層で25.0%、周辺層で17.9%、非生活困難層で15.3%と生活困難度が高い層ほど割合は高くなっています。



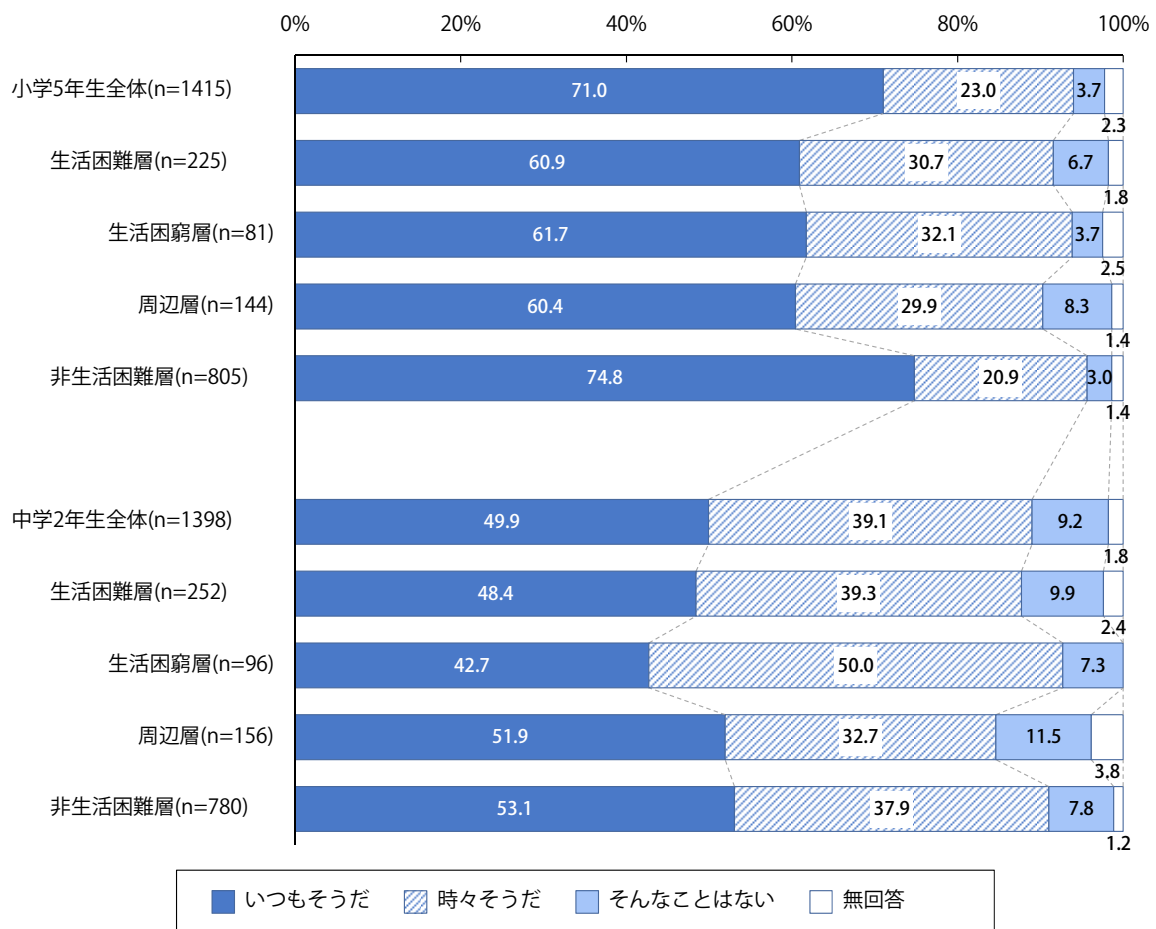
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

M 家族と話すのが好きだ

家族と話すのが好きだについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は9割を超えており、また、中学2年生では、小学5年生に比べ「いつもそうだ」の割合は低くなっていますが、「時々そうだ」を合わせると9割前後と多数を占めています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられません。



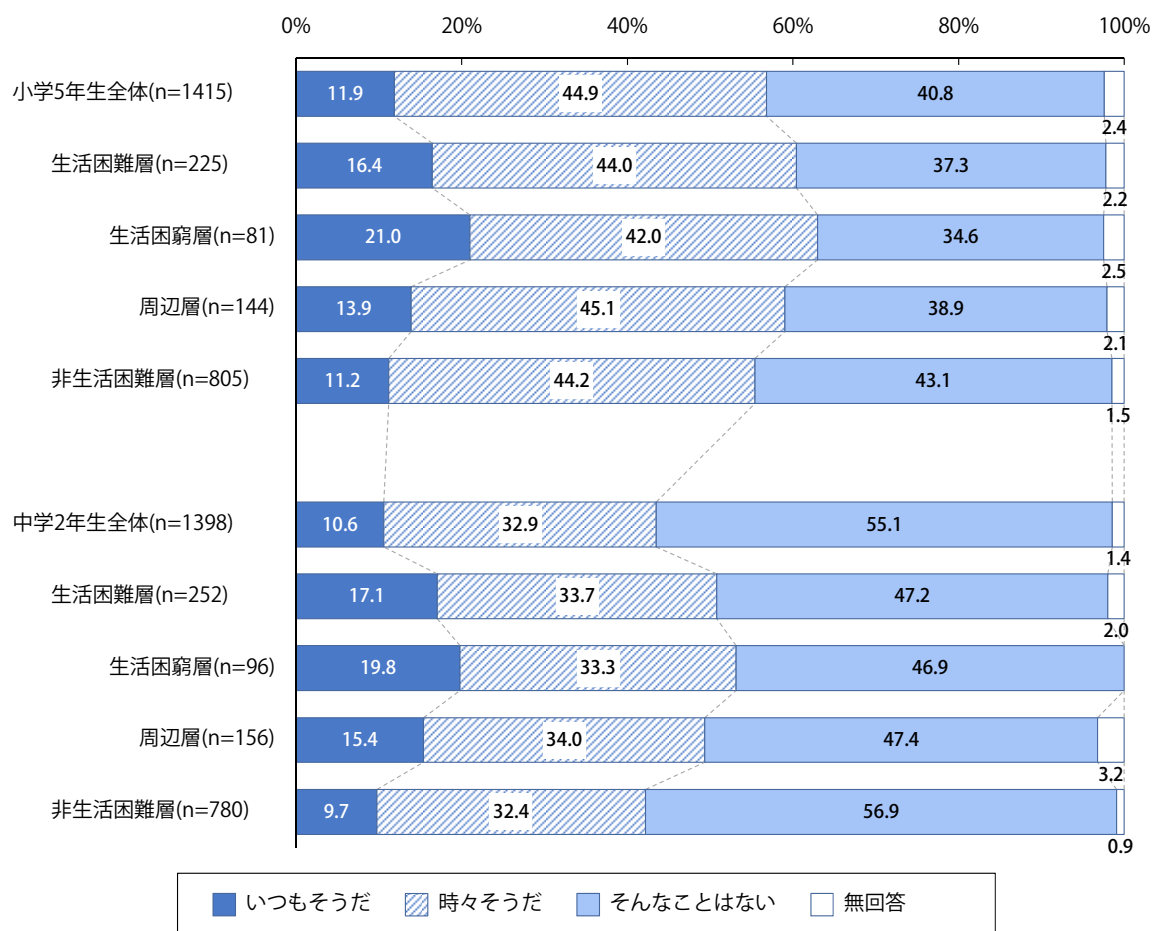
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

N こわい夢を見る

こわい夢を見るかについて、小学5年生全体では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は56.8%と半数を超えています。生活困難度別では、生活困窮層で63.0%、周辺層で59.0%、非生活困難層で55.4%と生活困難度が高い層ほどこわい夢を見る割合が高くなっています。

中学2年生では、小学5年生に比べこわい夢を見る割合は10ポイントほど低くなっているものの、小学5年生と同様の傾向となっています。



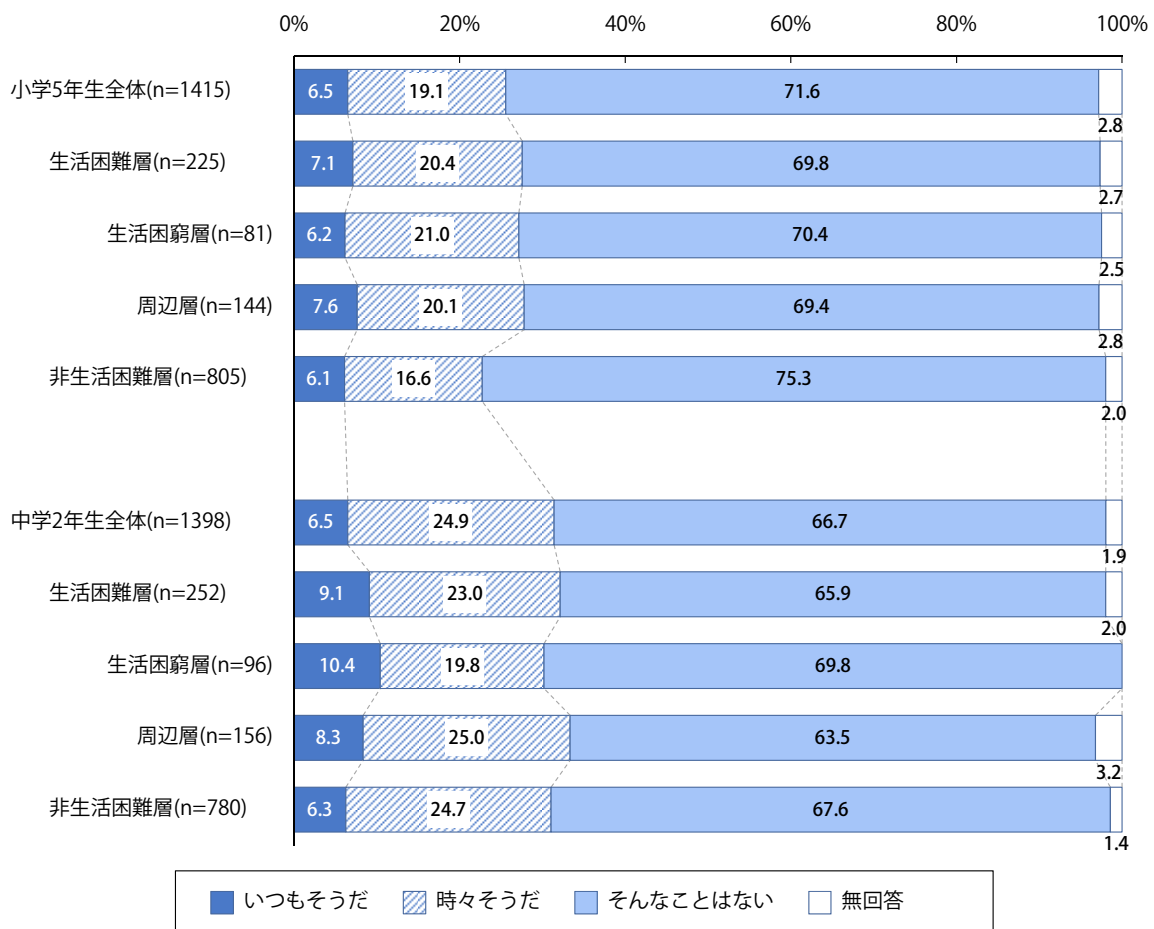
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

○ ひとりぼっちの気がする

ひとりぼっちの気がするかについて、小学5年生では「そんなことはない」が7割前後と多数を占めており、生活困難度別でも大きな差はみられません。

中学2年生でも「そんなことはない」が多数を占めていますが、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合を生活困難度別にみると、生活困窮層で30.2%、周辺層で33.3%、非生活困難層で31.0%と、周辺層で孤独を感じている割合が高くなっています。



▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

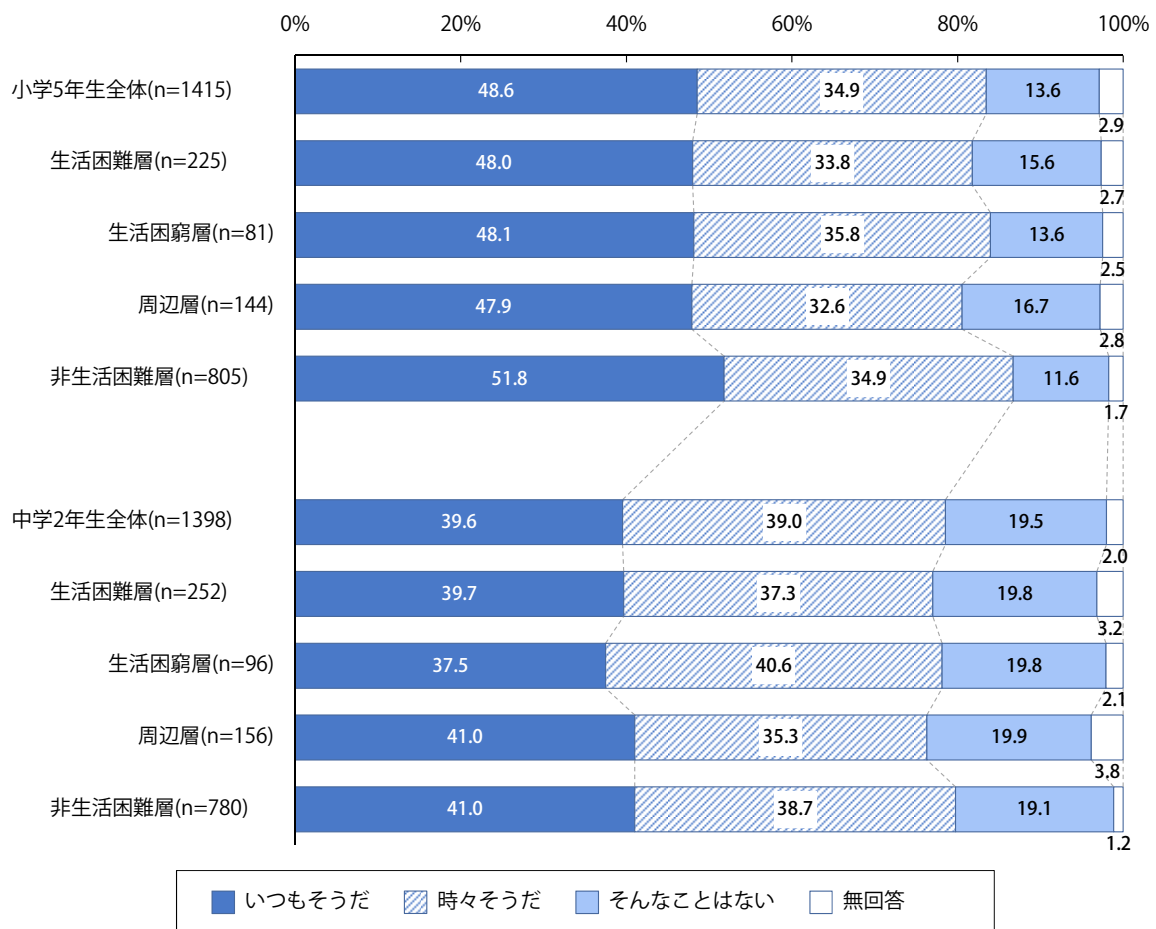
この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

P 落ち込んでいてもすぐに元気になれる

落ち込んでいてもすぐに元気になれるかについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合はいずれも8割を超え多数を占めています。

中学2年生でも、小学5年生よりやや低いものの、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は75%を超え多数を占めています。

小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられません。



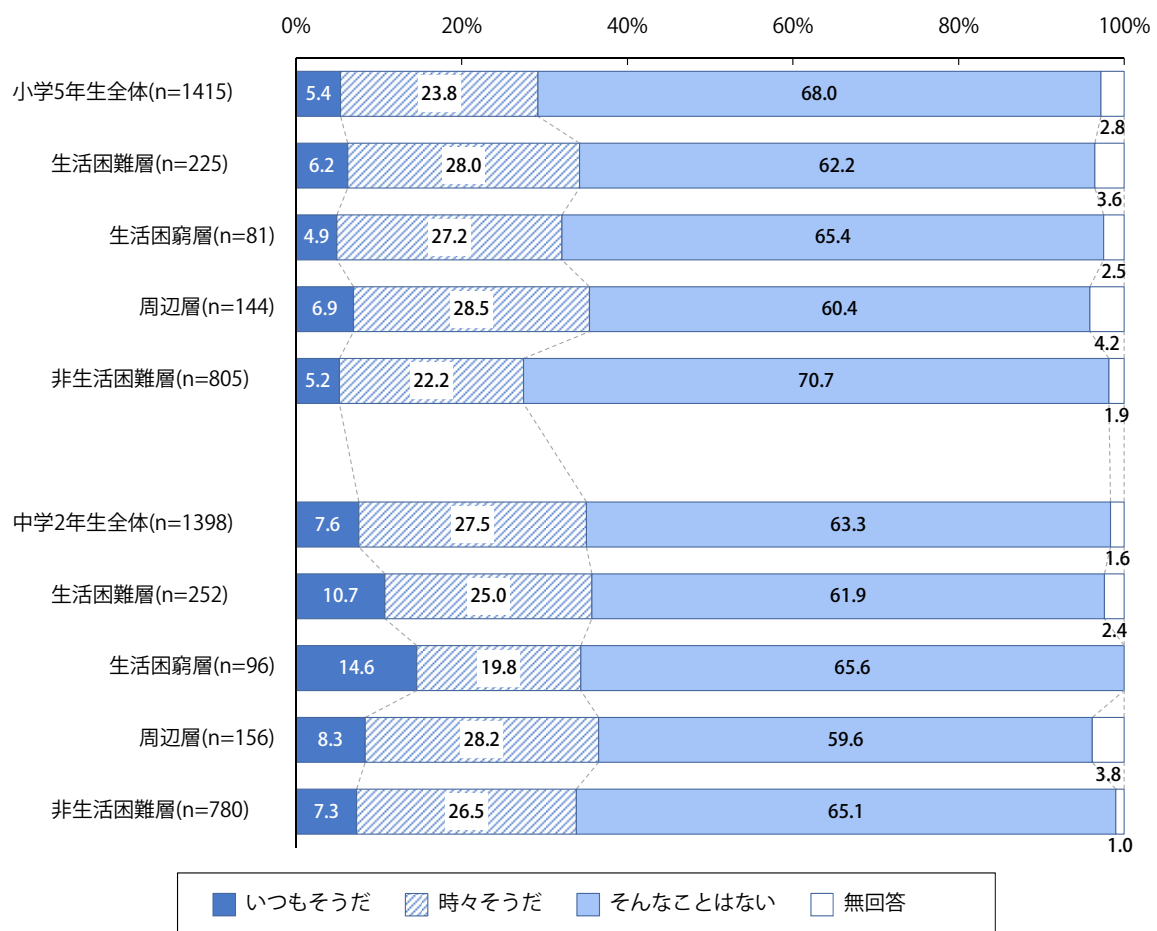
▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

Q とても悲しい気がする

とても悲しい気がするかについて、小学5年生では、「そんなことはない」と回答した割合は6~7割と多数を占めていますが、周辺層で60.4%とやや低くなっています。

中学2年生では、「そんなことはない」は6割前後と多数を占めているものの、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合を生活困難度別にみると、生活困窮層で34.4%、周辺層で36.5%、非生活困難層で33.8%と、周辺層で悲しい気持ちがする割合が高くなっています。



▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。

この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

R とても退屈な気がする

とても退屈な気がするかについて、「いつもそうだ」「時々そうだ」を合わせた割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、非生活困難層の41.9%に対し、周辺層で50.7%と高く、中学2年生では、生活困窮層で57.3%、周辺層で50.6%、非生活困難層で49.4%と生活困難度が高い層ほど、退屈な気がする割合が高くなっています。

